

青葉山公園（仮称）公園センター
もりの歴史を未来へつなぐ
プレイスメイキング

2018年2月3日(土)

デザインレビュー1

「公園センターのデザインについて」

本日の流れ

第1部 プレゼンテーション

13:30 – 13:40 あいさつ

13:40 – 14:20 公園センターのデザイン案のご説明

第2部 ディスカッション

14:20 – 14:30 ディスカッションの流れのご説明

14:30 – 14:50 ポスティングタイム

14:50 – 15:00 休憩

15:00 – 16:10 テーマディスカッション

16:10 – 16:30 まとめ、次回告知、アンケート記入
あいさつ

プレゼンテーション目次

- | | | |
|----------|--|-------------------------|
| 1 | 公園センターに期待されること
要求、設計条件に関して | Chapter
01-03 |
| 2 | 公園センターのたたずまい
公園センターの位置付け、アプローチ、外観 | Chapter
04-05 |
| 3 | 公園センターの構成
歴史への応答、公園センターの構成・機能・面積 | Chapter
06-08 |
| 4 | 公園センターの使われ方
使い方のバリエーション、内部と外部のつながり | Chapter
09-12 |

デザインレビュー1

01

もりの歴史を未来につなぐために
流れと重要なタイミングの確認

公園センターのメインテーマ

もりの歴史を
未来へつなぐ
公園センター
PARK CENTER

歴史

History

未来

Future

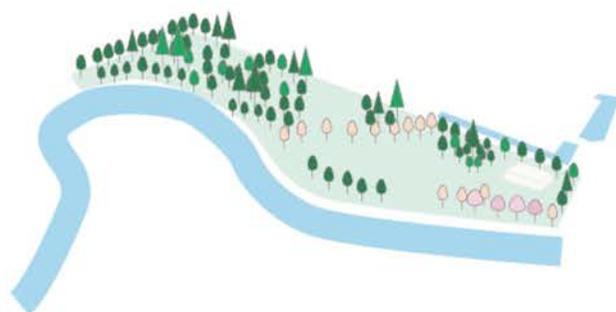


だれがつなぐのか

市民 来賓者
観光客 訪日外国人

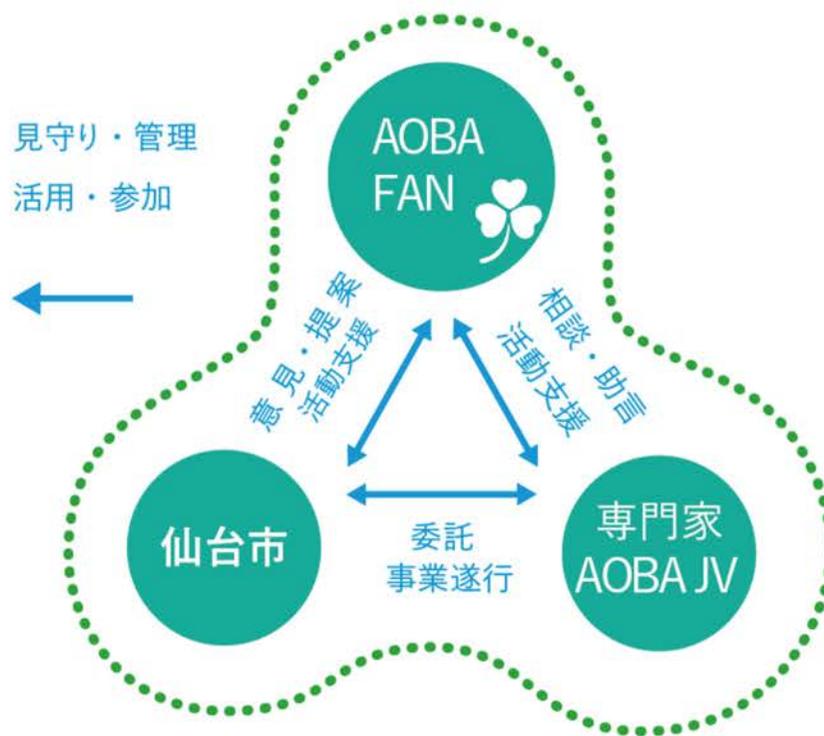


青葉山公園



プレイスメイキング
公園を「育てる」原動力

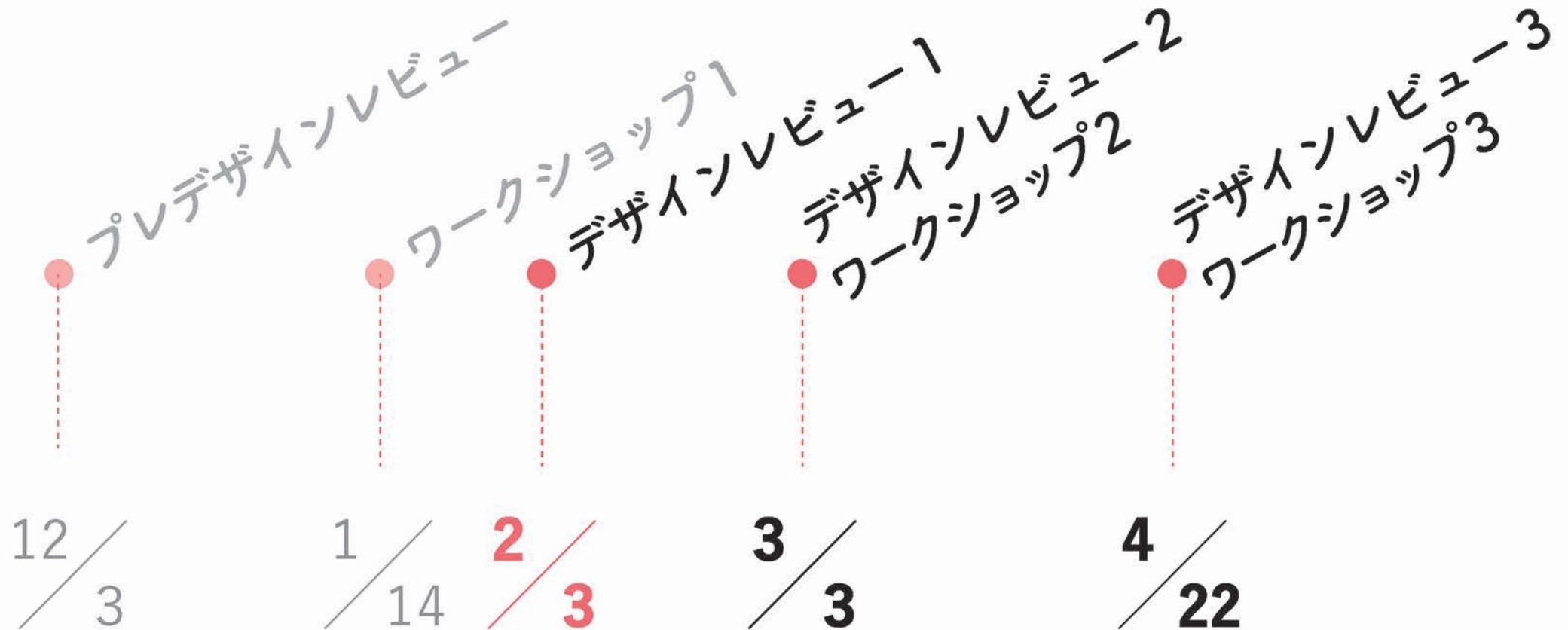
市民活動団体 周辺関連施設
市民 大学



オープンまでの流れとプレイスメイキング



基本設計とプレイスメイキング



デザインレビュー1

02

これまでのふりかえり

これまでのふりかえり

2017.12.03

プレデザインレビュー



AOBA JVによりプレデザインレビューを開催し、公園センター地区に寄せられる多くの期待を共有しました。

2018.01.14

プレイスメイキング1



プレイスメイキング1を開催し、オススメの場所やルートを共有しながらウォーキングマップを作成して、仙台の「伝え方」を考えました。

2017.12.03

プレデザインレビューアンケートのご紹介

2017年12月3日(日曜日)もりの歴史を未来へつなぐプレデザインレビュー報告

■アンケート結果

日時	平成 29年 12月3日(日曜日) 13:30~16:00
場所	仙台国際センター展示棟会議室3
主催	AODA 仙台(チャールズ・クラック、文化財保存計画基金設計共同体)
スタッフ	橋本 福成、伊藤 賢康、矢野 北川、丹野 村尚、藤原 智也、吉田 良典、学生ボランティア3名、計16名
応募総数	101
出席者総数	98
第二回出席者	71
欠席者	14
当日参加者	17
出席率	82% (応募者総数・欠席者 / 応募者総数)
アンケート回収率	70 (アンケート回収総数 / 出席者総数)
プログラム	第一部：みんなで学ぶ - チーム紹介 - これまでの経緯、プロボザン案の経緯 - リサーチ報告 第二部：みんなで考えよう(ディスカッション) - ファイナルディスカッション(参加者一輪席席) - 採択候補案 (AS303) - アンケート - リサーチレポート - 質疑 - 過去の様子、資料(写真クプロイド、「Livable Cityをつくる」)
ディスカッション	発言者 15名 <概要> - このよう取組むのは仙台市では初めてではないか。素晴らしい。 - 市民がどうにかしたいかWSしながら計画するプロセスが良い。 - 広瀬川をもっと活用してほしい/広瀬川は自然が素晴らしいので人を惹き入れている。 - ここでしかできないことをやらせたい。 - 大手町完成を待っている、西公園から、大橋から、敷地から大手町を見上げた時、何都市景観を想像しているか。 - 採択案に対して採択した専門家の集まりが良い。 - 仙台にお客様が来た時に連れて行く所として公園センターに期待している。 - ぜひ世界の人が来る「歴史方法」をつくりましょう。 - 中心市街地から離れた敷地であるので、野趣な雰囲気と開かいの両方のバランスが必要。 - 財務省管轄地は河津段であるので、ぜひ仙台市に入札して頂き、併せて歴史地帯をまとめてほしい。 - 公園センターは自分たちの特技やできることをアピールできる場所になる。 - 公園センターには江戸時代の建ちや歴史的(築山)などを盛り込めるような建築を期待している。 - 市民がどうのアイデアを出して、持論的にこのプロジェクトを盛り上げられるよう仙台市民も関心がある。 <課題として出たもの> - 仙台市の各課との連携についての心配。 - 100万人超である仙台で参加者100名で意見を聞けるのか。 - 採択案をどう説明するか。 - 青葉山公園だけの公園センターではなく広域でのセンターとなるように考えるべきである。 - 周辺のアクティビティがたくさん存在する中で、どう差別化するかと考えたい。 <次回WSに向けての提案> - 市民の応募をある程度水「おすす」を呼び取らせてほしい。

■アンケート内容

説明

- お名前
- ご年齢
- ご職業
- お住まい
- 何をみてデザインレビューをしましたか？(丸をつけてください)
①ポスター(設置場所：地下東西線川内駅・副都センター駅・大町公園駅、仙台市博物館・エルパーク大町) ②チラシ(設置場所) ③仙台市広報 ④Facebook ⑤口コミ ⑥その他()
- 公園センターをどのような人々に活用して欲しいですか？(複数選択可)
執行部、市民(文化活動)、市民(健康づくり)、国際交流の場、学生や生徒、授業/ワークショップ参加者、ボランティア活動、家族や親戚、友達、その他(自由記述)
- 公園センターでやってみたい活動はありますか？(複数選択可)
- 執行部と市民の交流を行いたい
- 川内や広瀬へ出かける際の情報を得たい
- 自然を眺めたくつらきたい
- コミュニティ育成の場として活用したい
- 青葉山公園のプレイスメイキングにつくも一期一會をする場として参加したい
- 文化的活動拠点として利用したい
> 具体的に何？
- 講演会やコンサート、パーティー会場などで活用したい
- 具体的に何？
- 公園でのイベントに参加したい/まち歩き参加したい
- 具体的に何？
- その他自由記述
- 公園センター施設を含む青葉山公園の運営やそこで活動の組織的に検討する協議会等が必要だと思いますか？(必要・不要)
- 09.08の質問の答えについて、補足等があればご記入ください。
10. 監修者チームへの賛同等があればご記入ください。
> (任意) 賛同したい組織()
- 本日のご感想・ご意見・ご賛同等自由にご記入ください。

■アンケート結果

出席者 98名のうち、70名からアンケート回収することができました。

02. 今年齢

アンケート回答者年齢構成

03. ご職業 (複数記入の場合はダブルカウント)

04. お住まい

市内から来ている人の割合

市外からの居住地

05. 何をみてデザインレビューをしましたか？(丸をつけてください)

市内からの割合

その他の回答

■当日配布アンケート

06. 何をみてデザインレビューをしましたか？(丸をつけてください)

07. 公園センターをどのような人々に活用して欲しいですか？(複数選択可)

08. 公園センターでやってみたい活動はありますか？(複数選択可)

09. 08の質問の答えについて、補足等があればご記入ください。

10. 監修者チームへの賛同等があればご記入ください。

09.08の質問の答えについて、補足等があればご記入ください。

10. 監修者チームへの賛同等があればご記入ください。

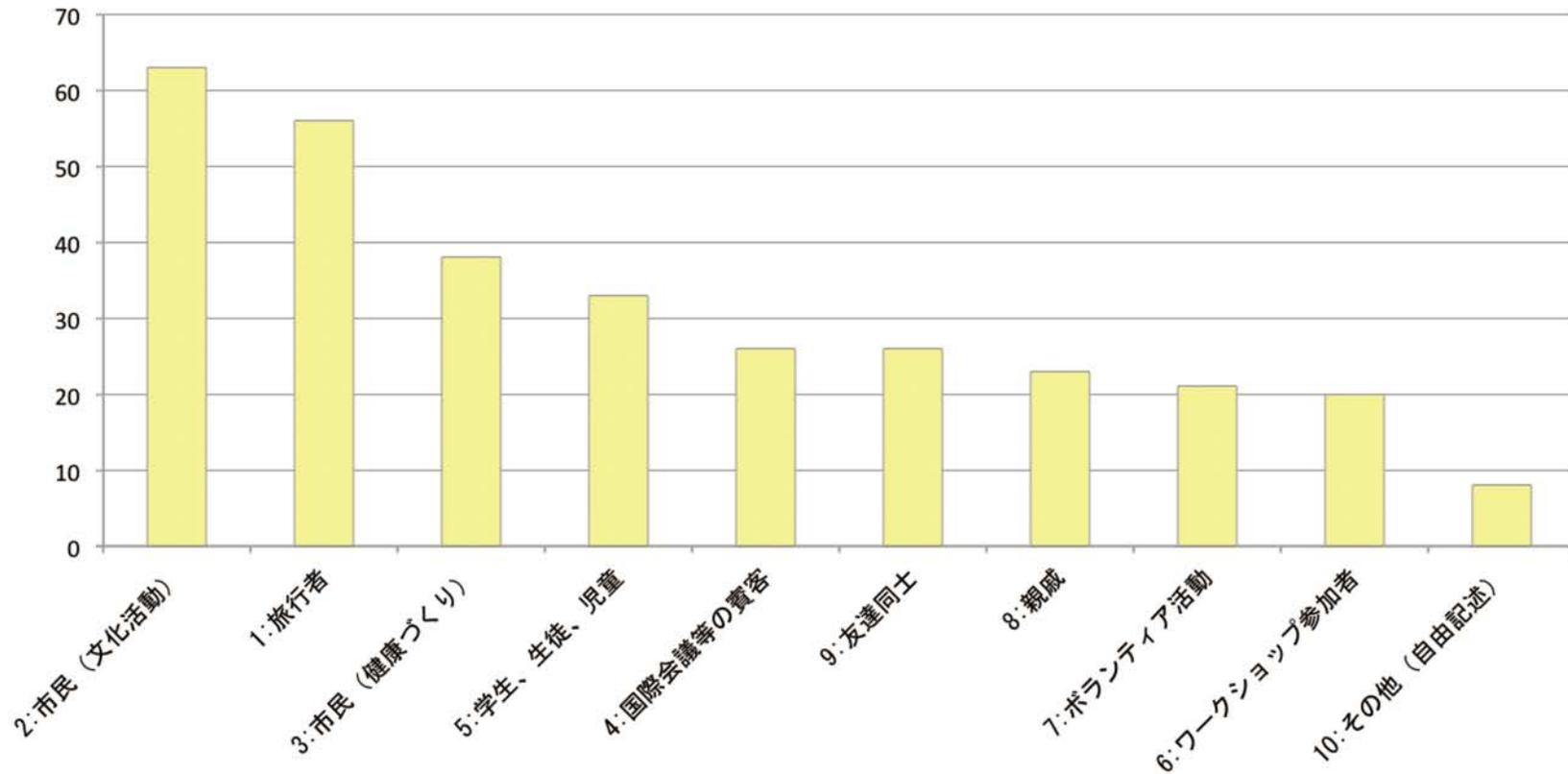
11. 本日のご感想・ご意見・ご賛同等自由にご記入ください。

■当日配布アンケート

2017.12.03

プレデザインレビューアンケートのご紹介

6.公園センターをどのような人に活用してほしいですか？



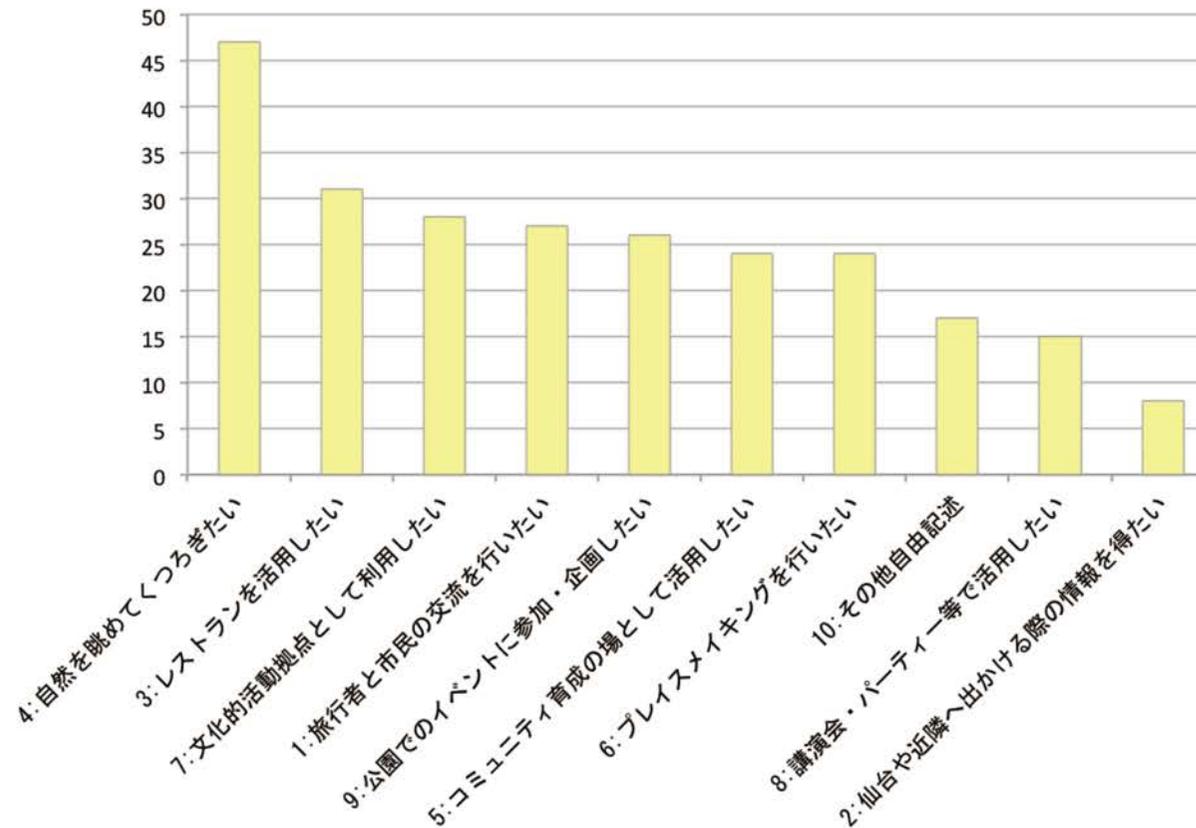
できるだけ多くのヒトに開かれたスペースを望む声がほとんどでした。

特に市民（文化活動・健康づくり）・旅行者・学生等の若い世代に活用してほしいという意見が多くありました。

2017.12.03

プレデザインレビューアンケートのご紹介

7.公園センターでやってみたい活動

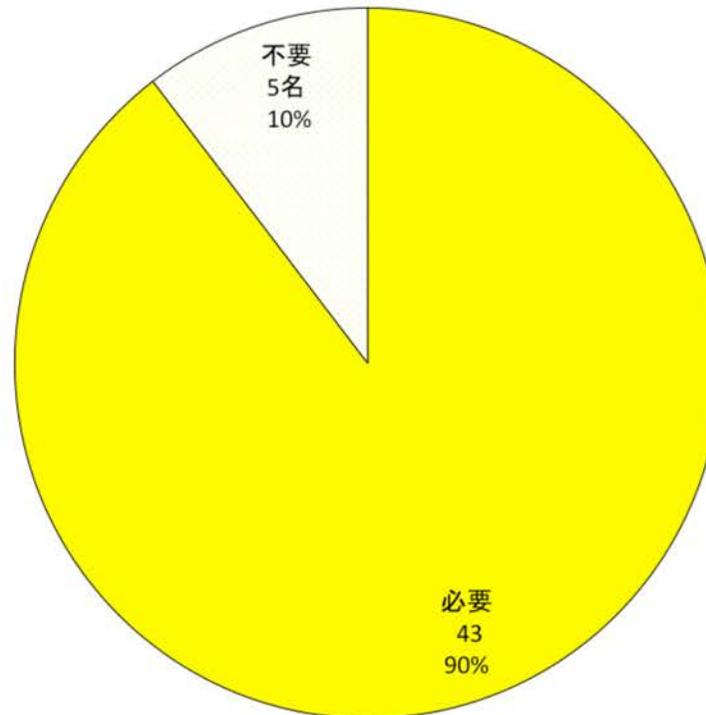


<具体的な意見の抜粋>ファーマーズマーケット、ワインツーリズム、結婚式場、小さな市民活動がたくさん、学生主体の企画、周辺施設のサテライトイベント、ヨガ、子供が自然に親しめるもの、自然や歴史を学べる拠点、ハコではなくヒトがどうやるか？。

2017.12.03

プレデザインレビューアンケートのご紹介

8.公園センター施設を含む青葉山公園の運営やそこでの活動を組織的に検討する協議会等が必要だと思いますか？

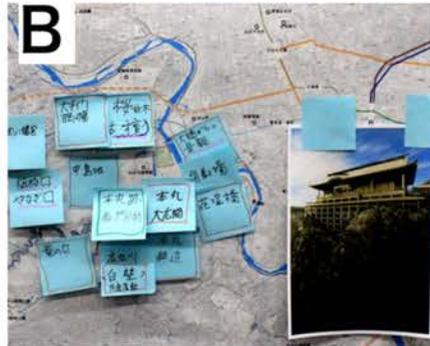


<具体的な意見の抜粋> 若い方や女性に参画してもらいたい、やりたいことを可能にするための協議会なら必要、アドバイザリーボードの設置、植栽管理を福祉としての仕事として切り出し、監修者の想いと、たいわした市民の考え等を伝えていく、事業性の検証etc.

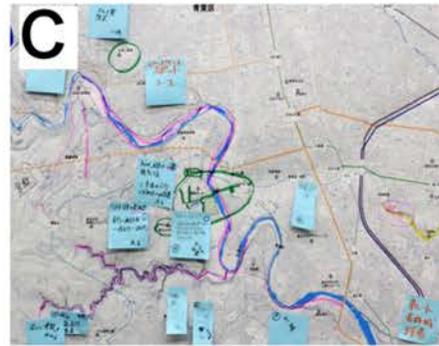
2018.1.14 プレイスメイキング1



大崎八幡宮・酒造コース



歴史と緑溢れる景観コース



河岸段丘・古道・水路宿泊
コース
春の自然を感じるコース
ピンポイント史跡コース



川と都市の親密化を図る
コース



青葉山・八木山を拓く
コース



森-杜-公園センター-都
コース



生態系を感じながら、
都市のコアな隠れ名所を
巡るコース



広瀬川の川下りから自然崖
を旅するコース

第一部は石川初先生から、地形の楽しみ方についてのレクチャー、第二部ではグループ毎に敷地発着のコースを考えていただきました。

詳細のご報告は3月3日に行います！

デザインレビュー1

03

設計にあたって配慮すべき事項

設計にあたって配慮すべき事項

基本計画で示されている条件

- 1 遺構の保護
- 2 計画可能範囲
- 3 求められる機能
- 4 防災機能



平成 26 年度 第 6 次調査 調査区全景 (北から)

遺構を大切に保護するため盛土し、その中に基礎を埋める。

設計にあたって配慮すべき事項

基本計画で示されている条件

- 1 遺構の保護
- 2 計画可能範囲
- 3 求められる機能
- 4 防災機能



遺構を大切に保護するため、遺構確認調査範囲(3,500m²)内に公園センターを配置する。

設計にあたって配慮すべき事項

基本計画で示されている条件

- 1 遺構の保護
- 2 計画可能範囲
- 3 求められる機能
- 4 防災機能

「楽しむ」

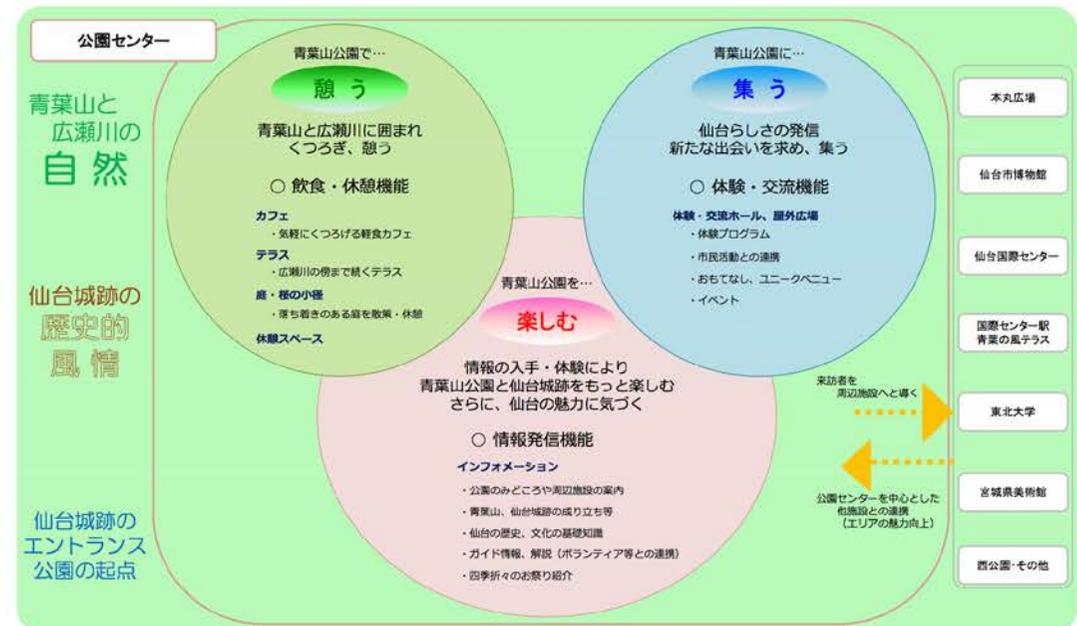
情報発信・展示機能

「集う」

体験・交流機能

「憩う」

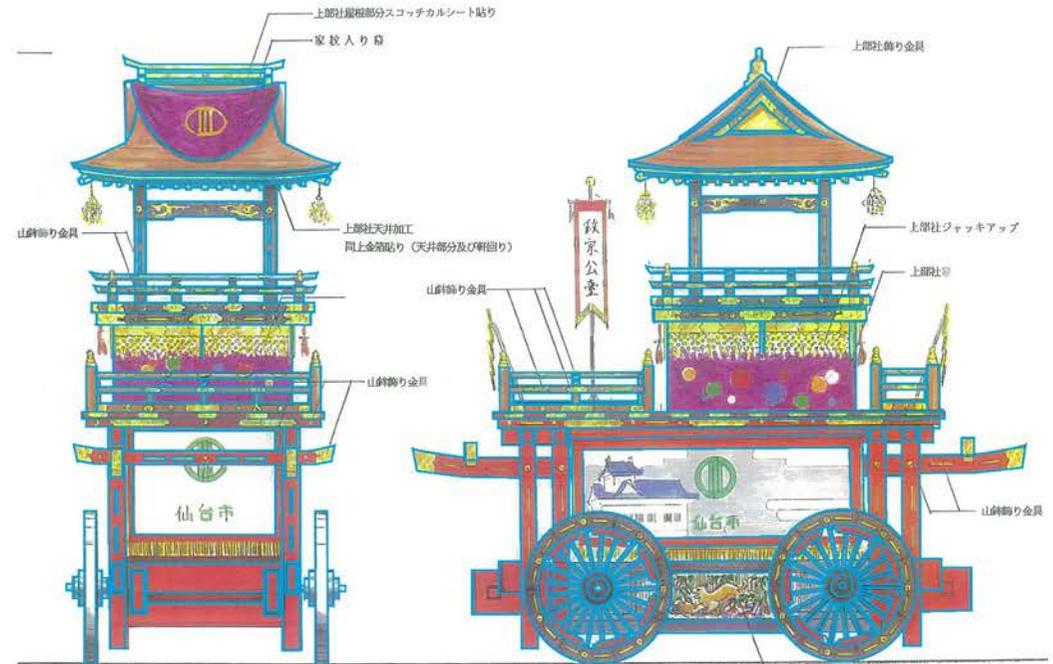
飲食・休憩機能



設計にあたって配慮すべき事項

基本計画で示されている条件

- 1 遺構の保護
- 2 計画可能範囲
- 3 求められる機能
- 4 防災機能



特に大きな展示物

最高高さ：5.7m

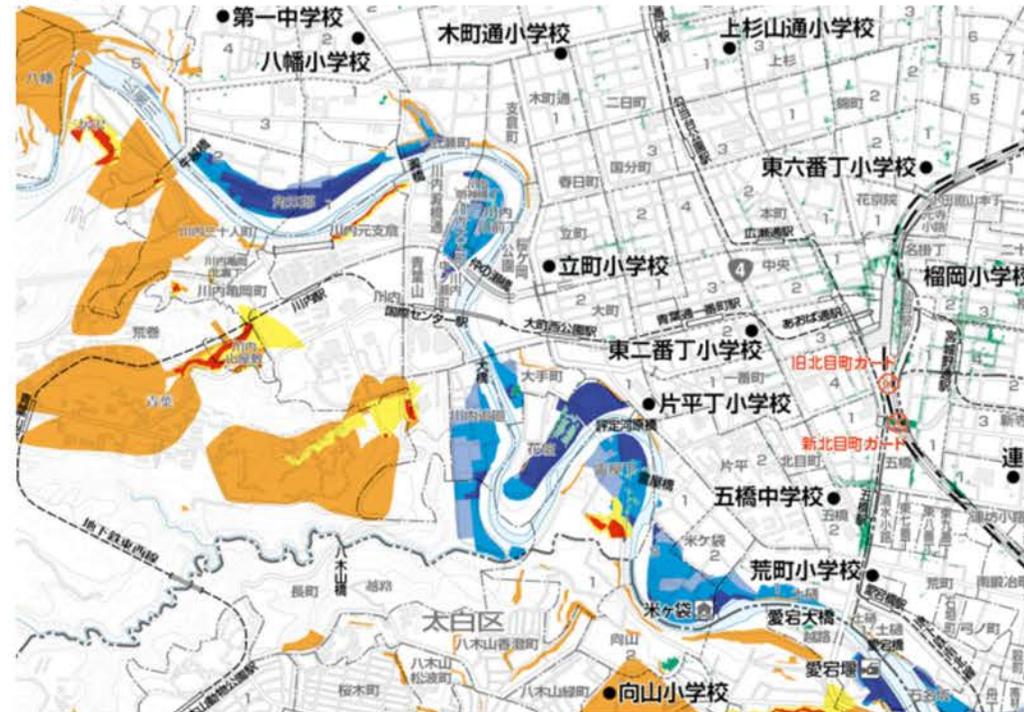
最大重量：8トン

搬入しやすいように計画する

設計にあたって配慮すべき事項

基本計画で示されている条件

- 1 遺構の保護
- 2 計画可能範囲
- 3 求められる機能
- 4 防災機能



防災計画城、広域避難地の役割を担い、公園利用者の避難場所として災害時・有事に一時的な滞在ができるようにする。

法令のポイント

建築基準法

- 1、防耐火要件 → ホール客席面積が 200m^2 以上で耐火建築物
- 2、防火区画面積
その他の要求等 → $1,500\text{m}^2$ ごとに防火区画が必要

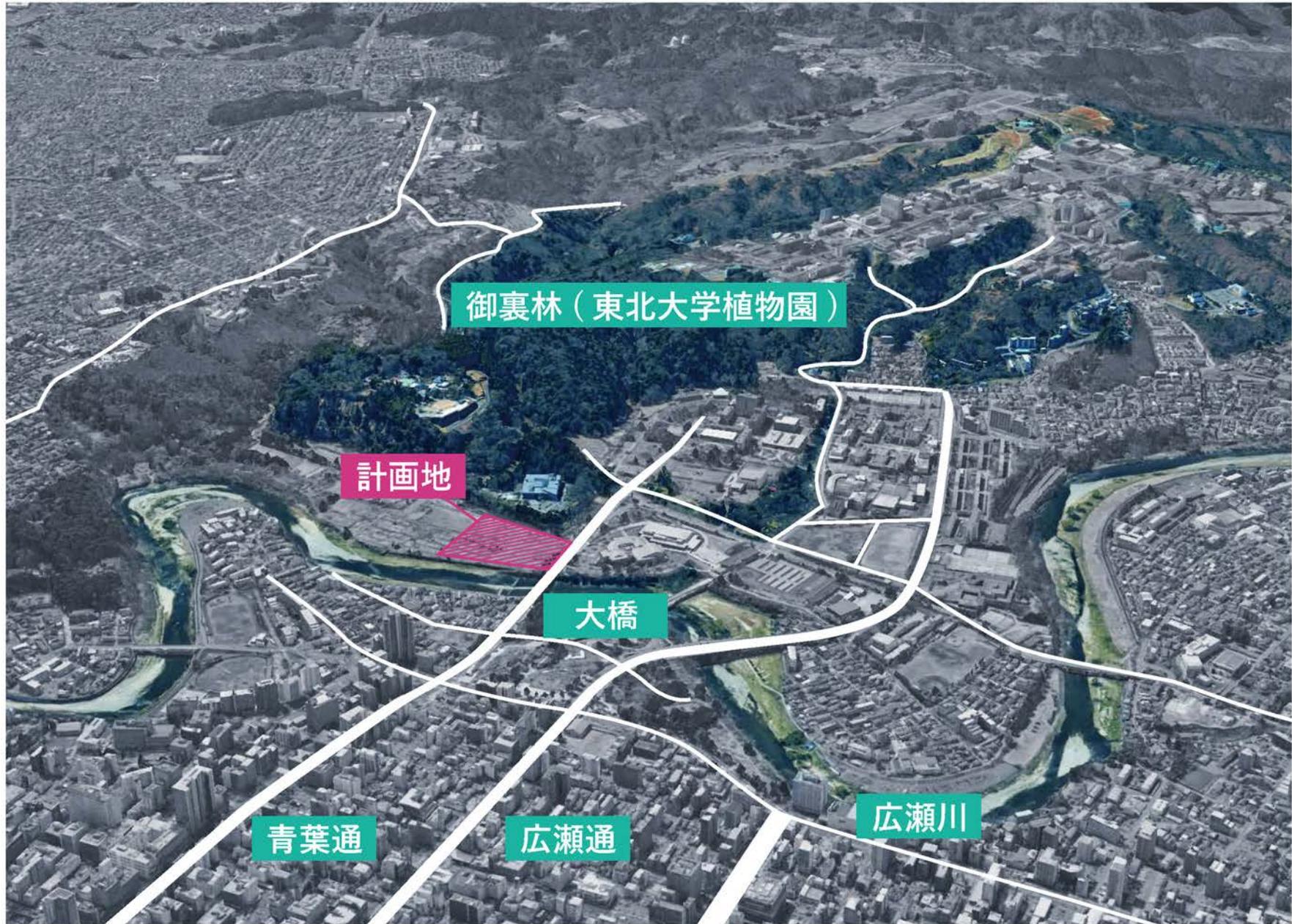
その他消防法、景観法、バリアフリー法

デザインレビュー 1

04

大橋から何が見える

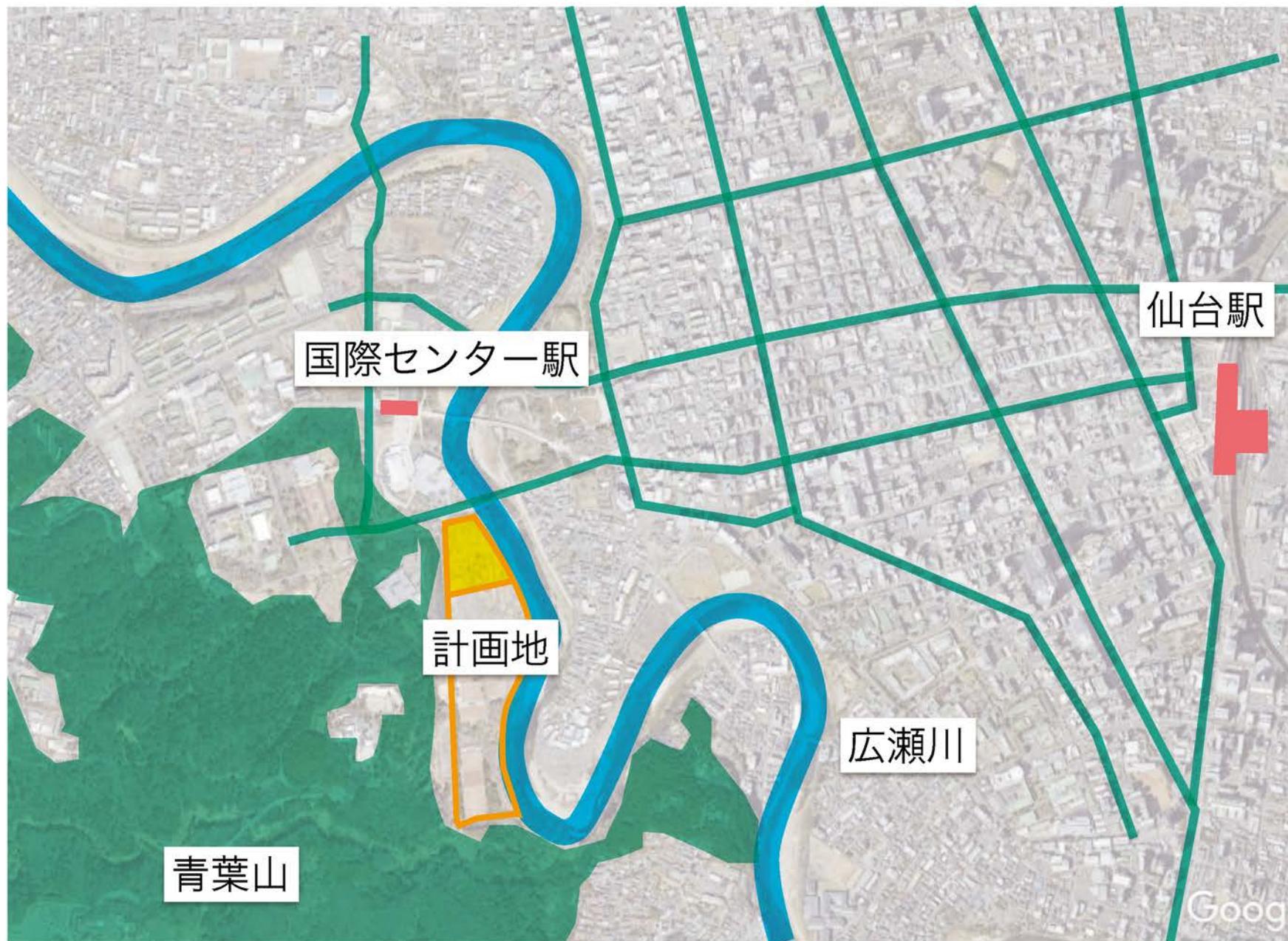
青葉山地区の環境構成



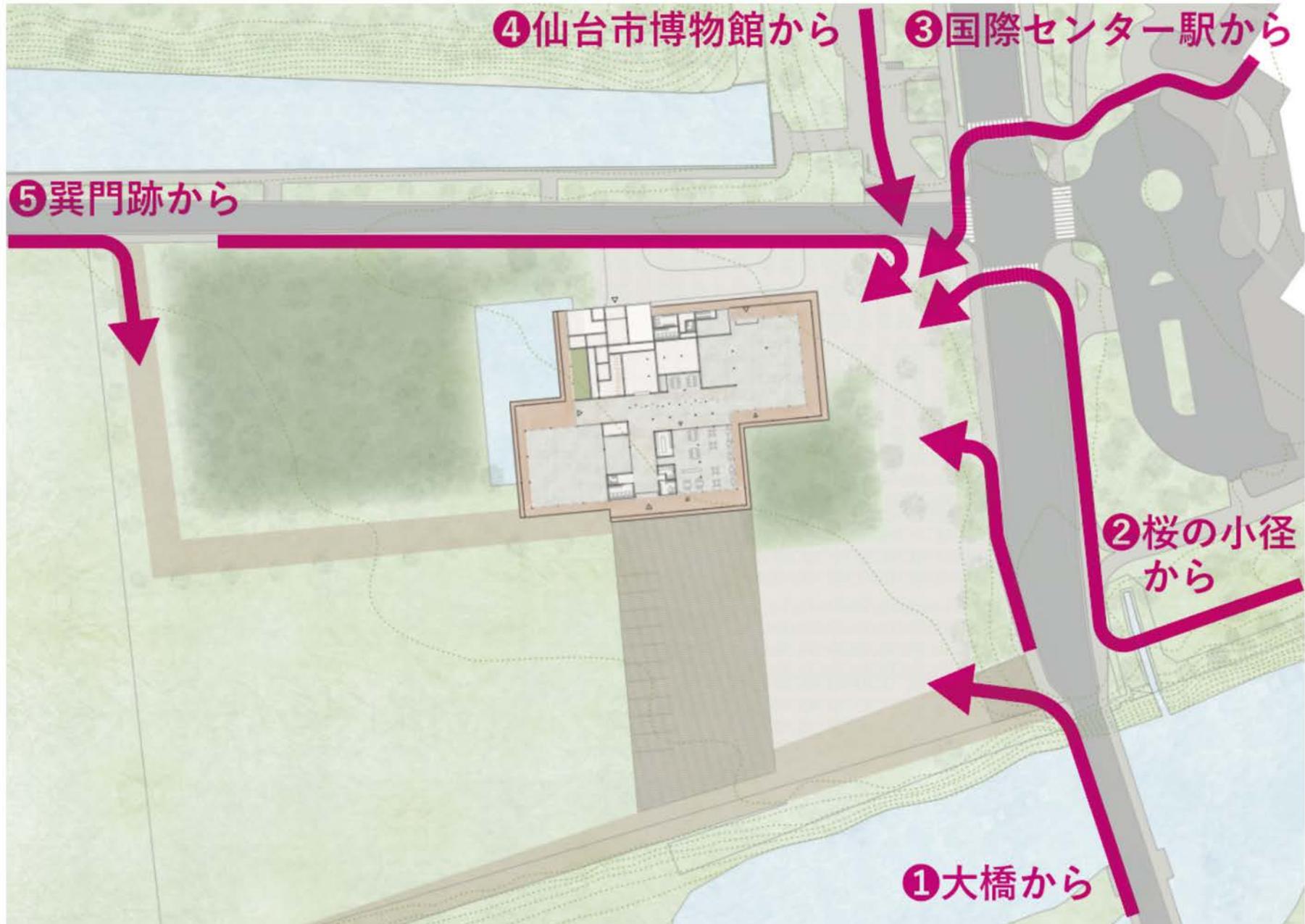
公園センターの位置付け



どこから人が来る？



主要なアプローチとVIEW POINT



大橋からの風景

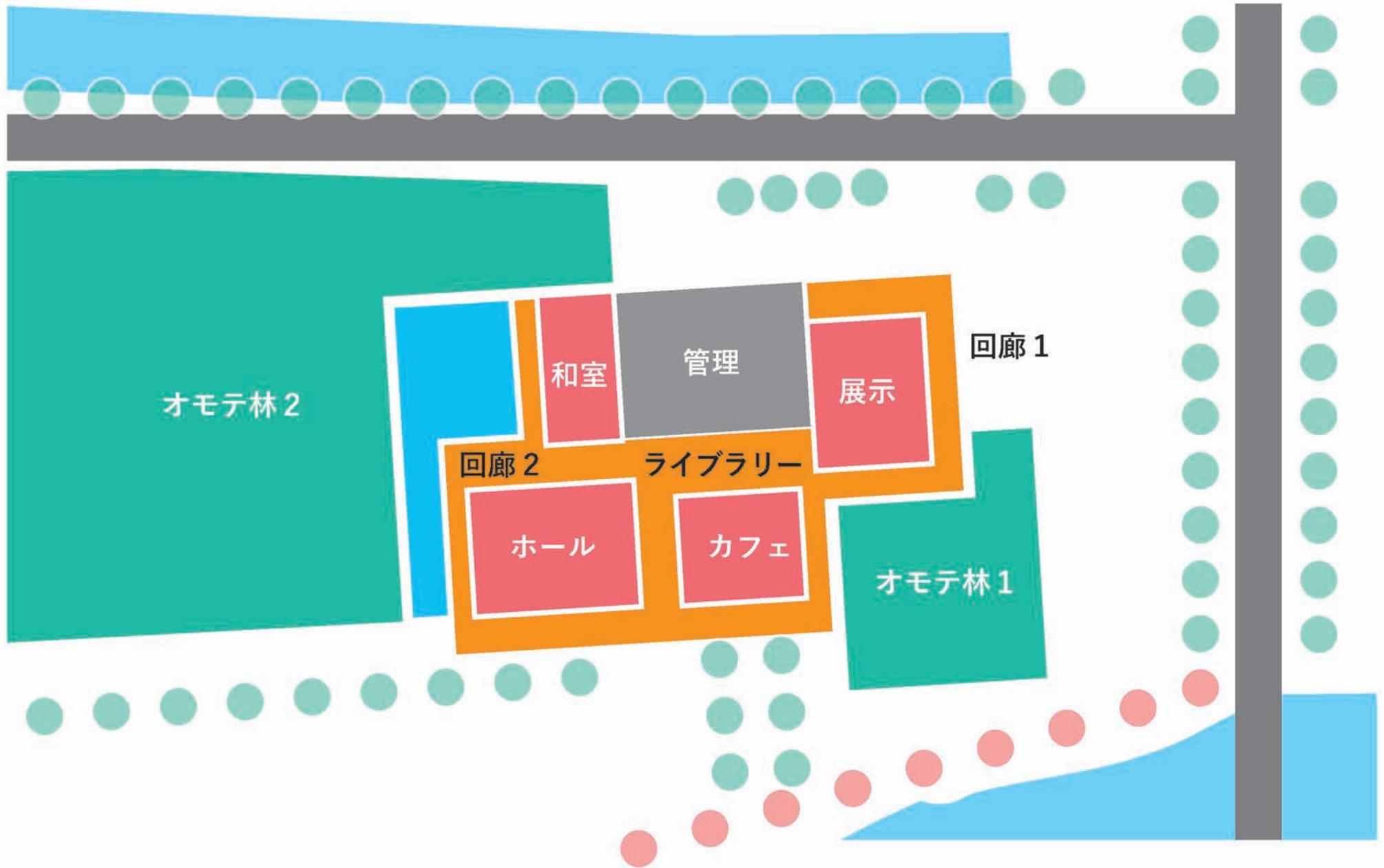


デザインレビュー1

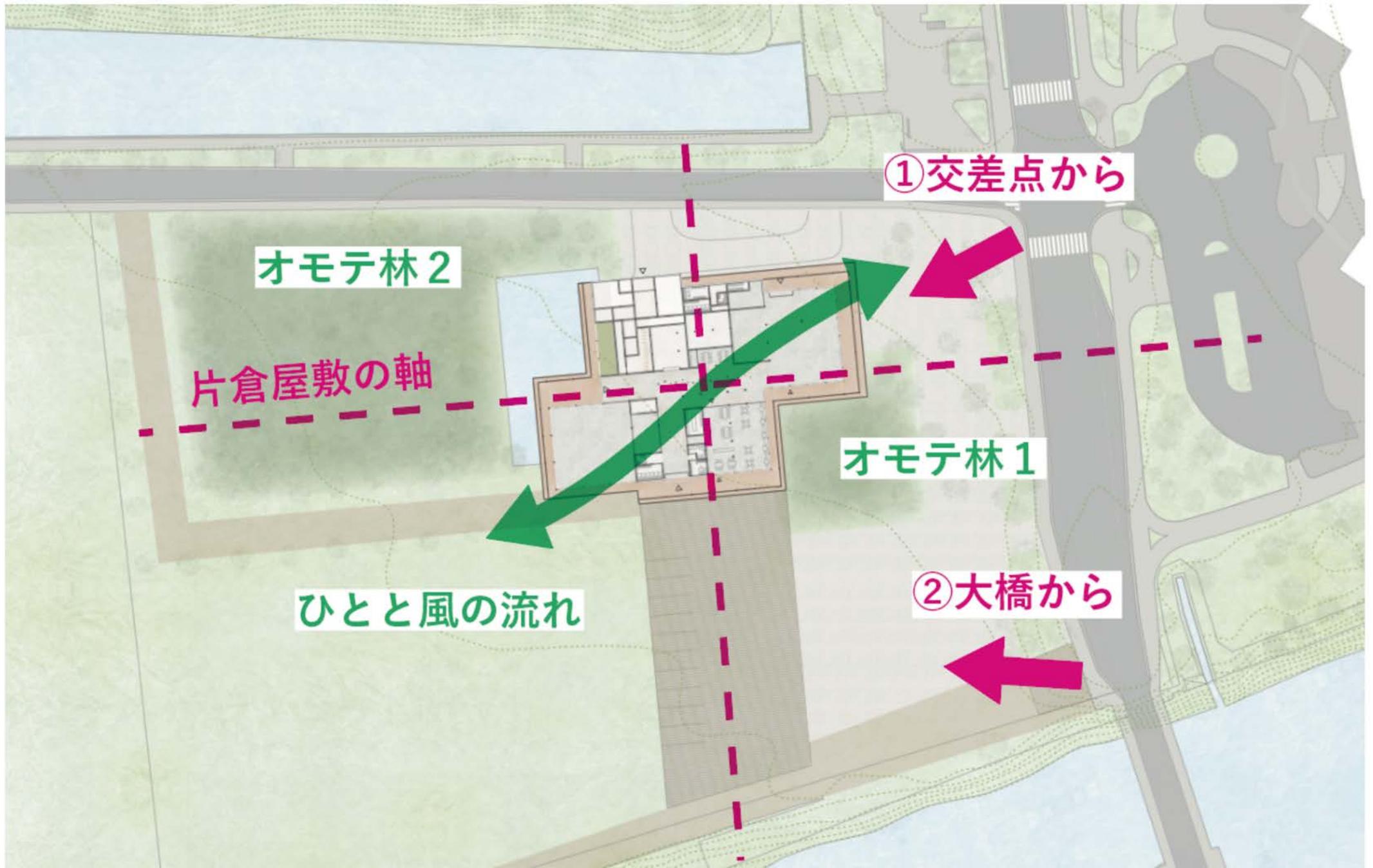
05

どこにどんな場所をつくり
訪れる人をどのように迎え入れるか
「建物配置とゾーニング」

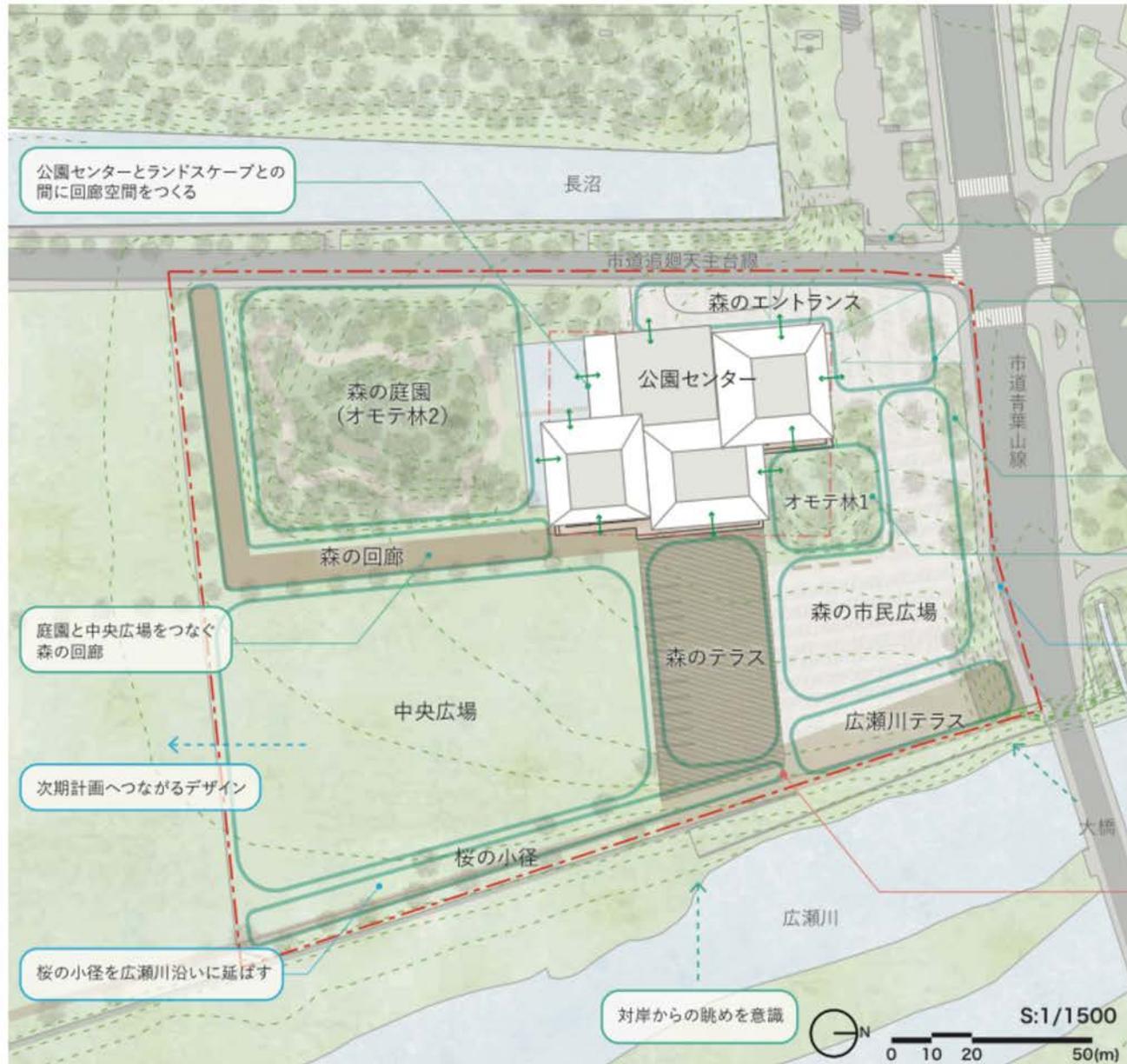
空間構成ダイアグラム



メインアプローチと建物配置



メインアプローチと建物配置



- デザインの方向性
 - 使い方・イメージ
 - 配慮すべき点
- 公園センターとランドスケープとの間に回廊空間をつくる
 - 仙台城跡の案内がある広場や駅からのアクセスを受ける
 - 前面道路から公園センター入り口まで擦り付ける造成
 - 遺構を保護した状態での造成計画(盛土+2m以内)
 - 並木道の様相を残す
 - オモテ林公園センターの淵につくる
 - バス停の位置検討
 - 大橋からの眺め・アクセス
 - 広瀬川での多様なアクティビティに対応する広瀬川テラス



森の回廊
翼門からのアプローチ

中央広場
市民のくつろぎや草の広場をつくる



広瀬川テラス

ゾーニング

があります。

インの方向性

方・イメージ

すべき点

案内がある広場
アクセスを受ける

ら公園センター
際り付ける造成

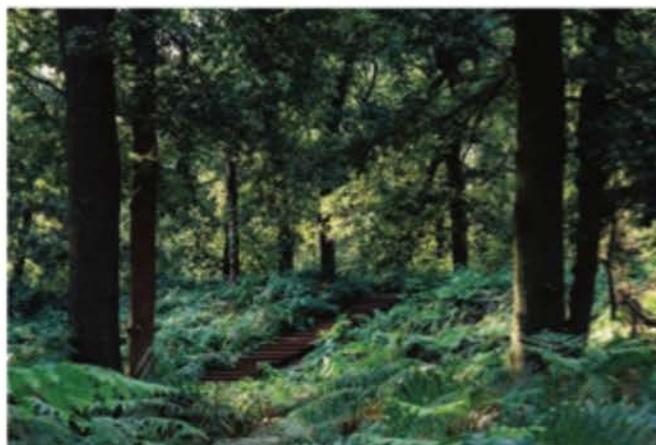
護した状態での
(盛土+2m以内)

に道の様相を残す

公園センターの
る

森の庭園(オモテ林2)

自然の森(御裏林)を想起させる多様な植物で構成した森をつくる



森の回廊

巽門からのアプローチ動線に沿った帯状のみどりをつくる

中央広場

市民のくつろぎやイベント等の多様な使われ方ができる芝草の広場をつくる



森のエントランス

国際センター駅等からの広域利用者を向かい入れるおもてなしの場をつくる

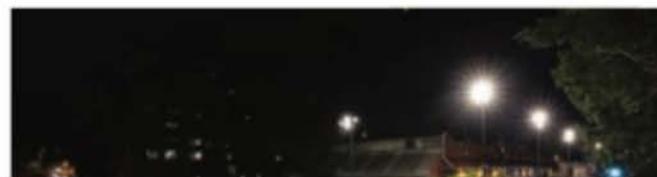
森の市民広場

市民による情報発信等の多様な市民活動の広場をつくる



森のテラス

カフェ空間と一体となった広瀬川に向かって広がるテラスをつくる



ゾーニング

(盛土+2m以内)

大道の様相を残す

公園センターの
る

く停の位置検討

らの眺め・アクセス

の多様な
ビティに
広瀬川テラス

中央広場

市民のくつろぎやイベント等の多様な使われ方ができる芝草の広場をつくる



森のテラス

カフェ空間と一体となった広瀬川に向かって広がるテラスをつくる



広瀬川テラス

広瀬川に沿った段々状のテラス、桜並木の連なる散歩道をつくる

ゾーニング

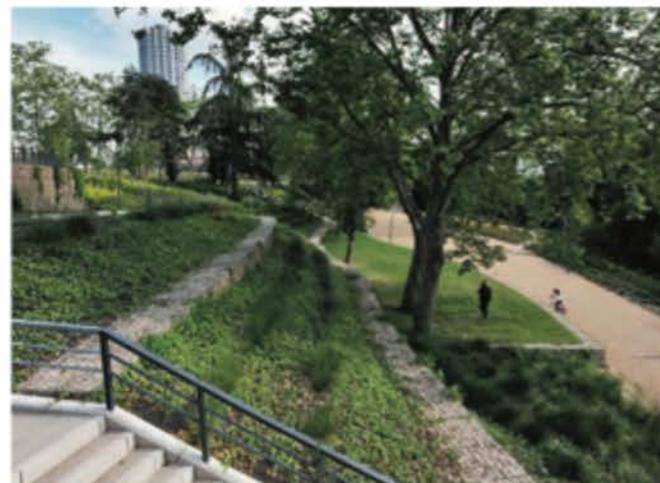
からの眺め・アクセス

の多様な
ビティに
広瀬川テラス



広瀬川テラス

広瀬川に沿った段々状のテラス、桜並木の連なる散歩道をつくる



計画地

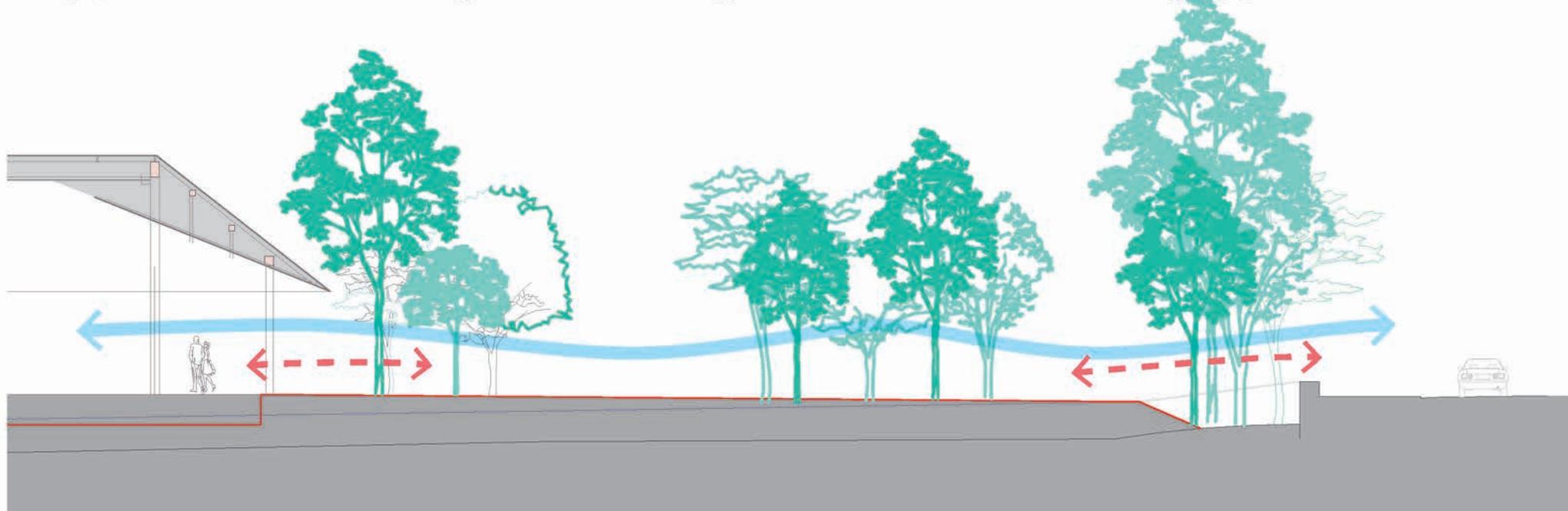
市道青葉通線

公園センター

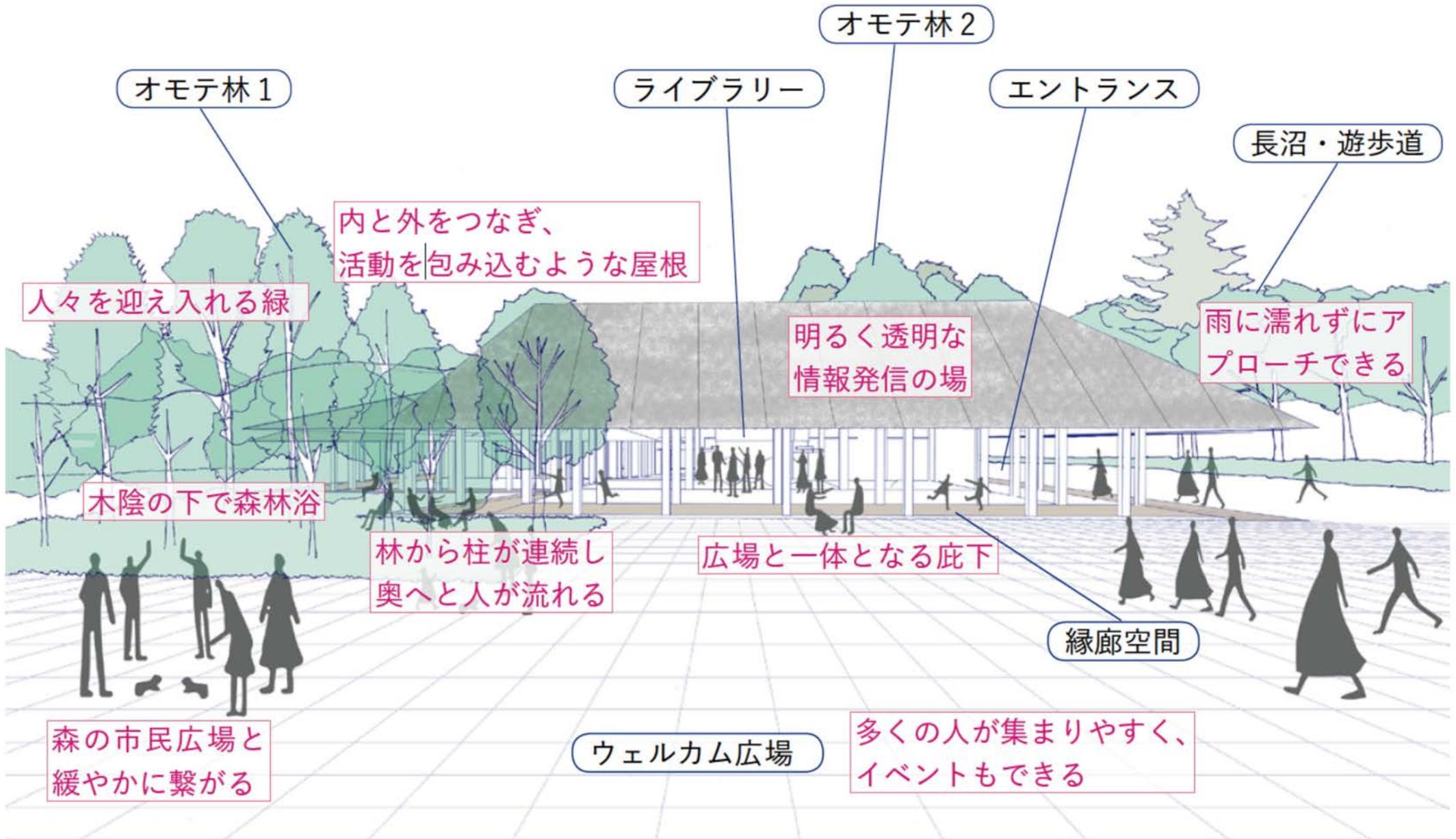
オモテ林1

森のエントランス

緩衝帯



国際センター側からの風景（北側立面）



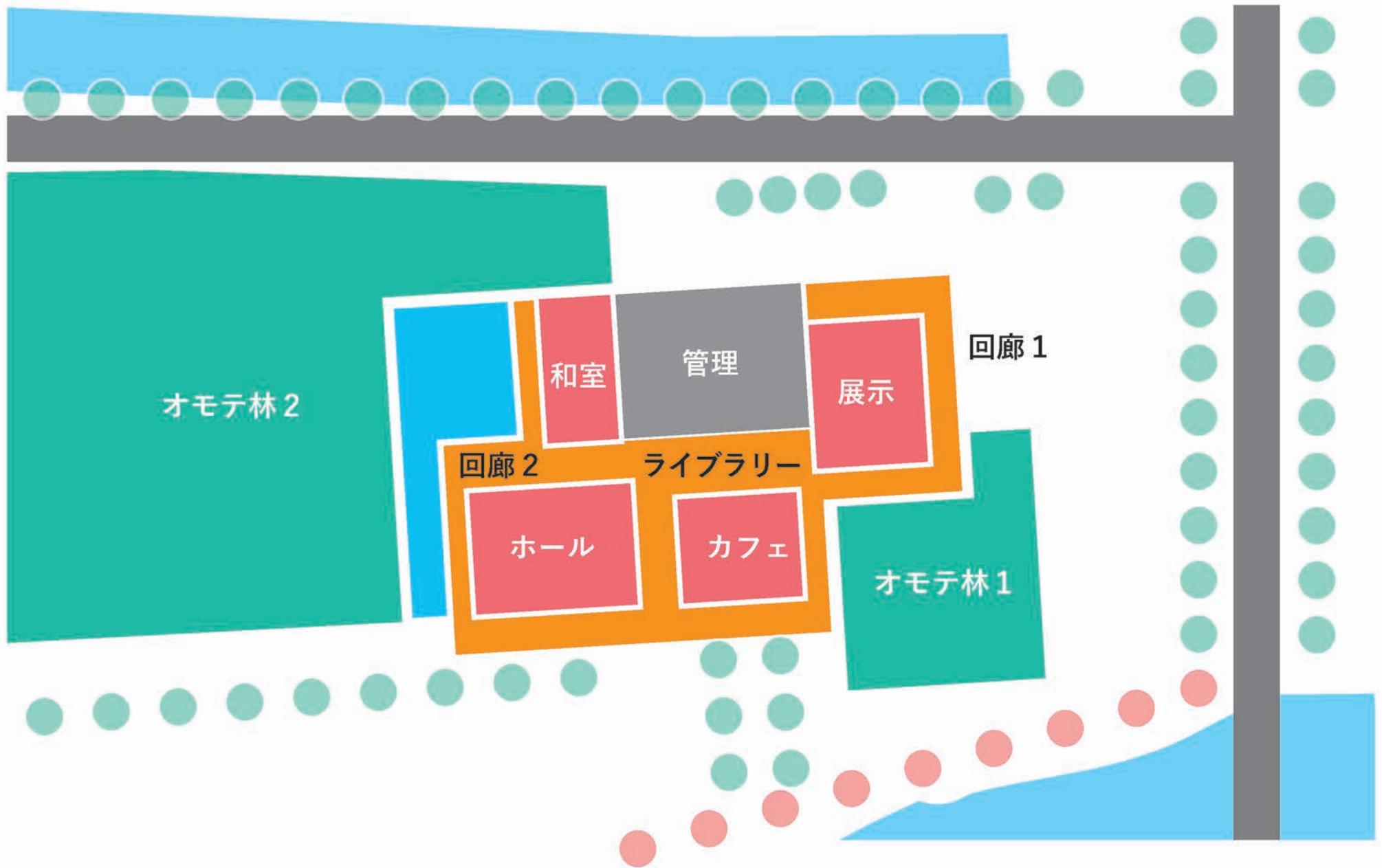
オモテ林のある風景（メインアプローチ）

デザインレビュー1

06

公園センター概要

空間構成ダイアグラム



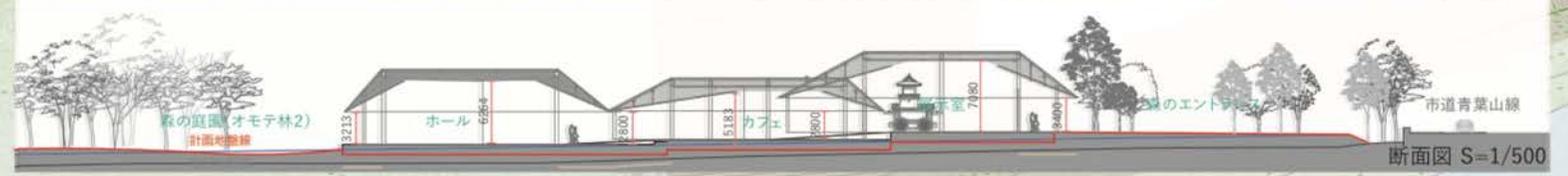
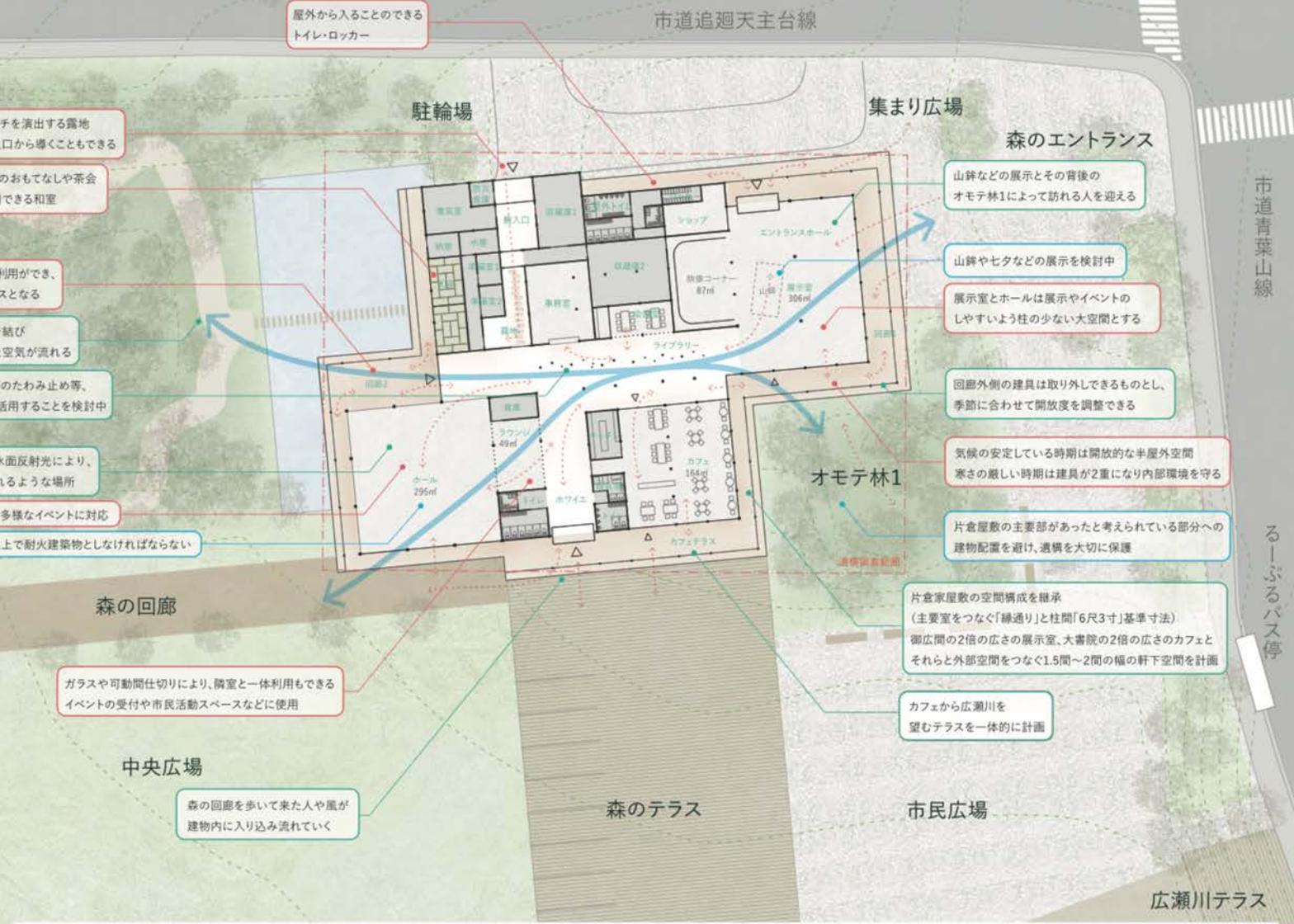
平面計画と面積表

プランは検討中のため変更の可能性があります。

- デザインの方向性
- 使い方・イメージ
- 配慮すべき点

面積表

区分	面積 (㎡)	備考
1 エントランスホール	51	受付 10～15㎡ (2名程が常駐)
2 ショップ	37	
3 ロッカー	7	森のエントランスから利用できる
4 屋外トイレ	55	多目的トイレ計画。森のエントランスから利用できる
5 展示室	343	山鉾を間近で見学、写真撮影できるスペース 映像コーナー：9.8mのスクリーン
6 収蔵庫1	49	
7 収蔵庫2	73	
8 ライブラリー	60	仙台の情報を見たり休憩ができる場所
9 ホワイエ	285	ラウンジやカフェと繋がるホワイエ
10 カフェ	191	独立運営可能
11 カフェテラス	117	
12 キッチン	22	
13 ホール	295	メディアテーク1階のオープンスペース程度
14 ラウンジ	49	ホール・ホワイエと一体利用可能
15 授乳室	13	
16 トイレ	46	多目的トイレ計画
17 和室	44	お茶会などの市民活動ができる和室
18 露地	38	茶室の空間となり、来賓時の動線となる
19 準備室1	11	
20 準備室2	11	
21 水室	13	大茶会などでも利用できる
22 事務室	73	ホワイエを通してホールや展示室も管理
23 会議室	36	運営者も市民活動団体も利用できる
24 倉庫	16	可動式屋根など収納
25 納屋	11	避難手入れ用の倉庫
26 防災倉庫	8	災害時利用物の倉庫
27 電気室	41	
28 出入口	41	
29 回廊1	219	
30 回廊2	195	
31 その他 (廊下など)	49	
合計	2,498	



市道青葉山線

るーぶるバス停

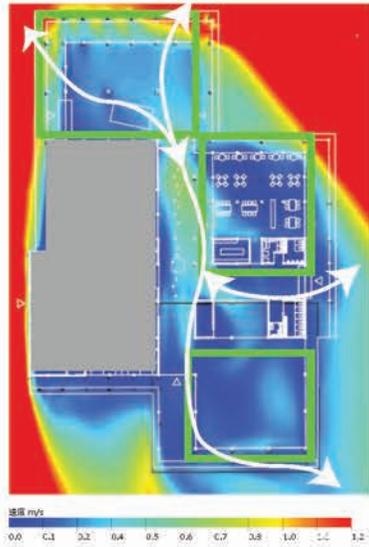
断面図 S=1/500

どのような環境か 光と風の解析

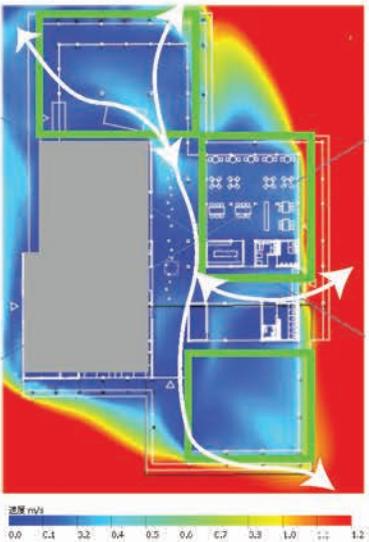
コンピュータシミュレーションによる風の流れの計算

コンピュータシミュレーションによる太陽光の計算

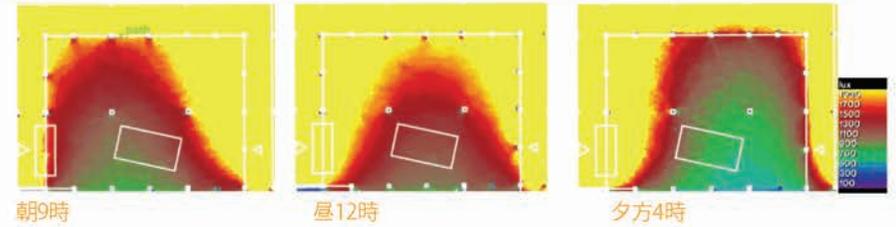
春秋



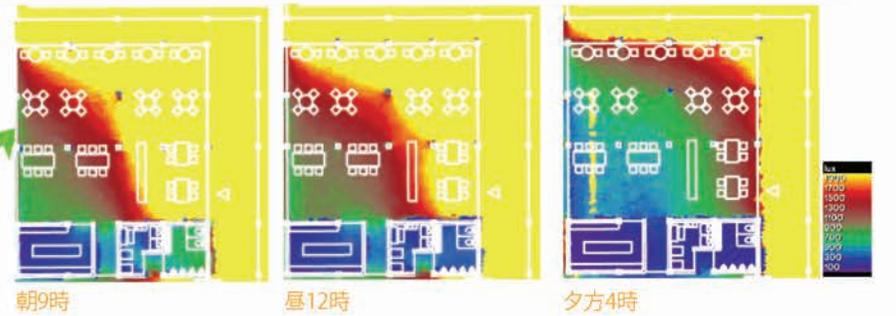
夏



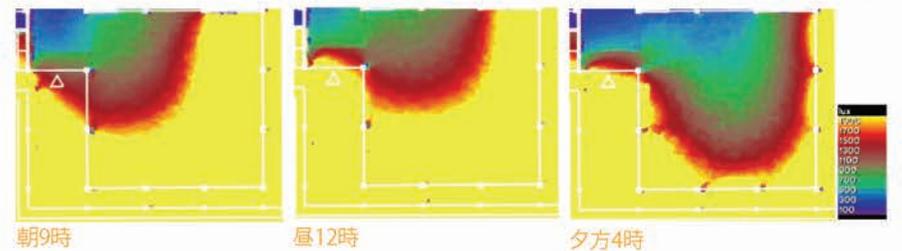
一日中穏やかで控えめな明るさ



特に朝、明るさが際立ちます



一日中常に明るく、開放的な雰囲気



それぞれの部屋を分散して配置すると、
その間を縫うように風がバランスよく流れます

デザインレビュー1

07

歴史への応答

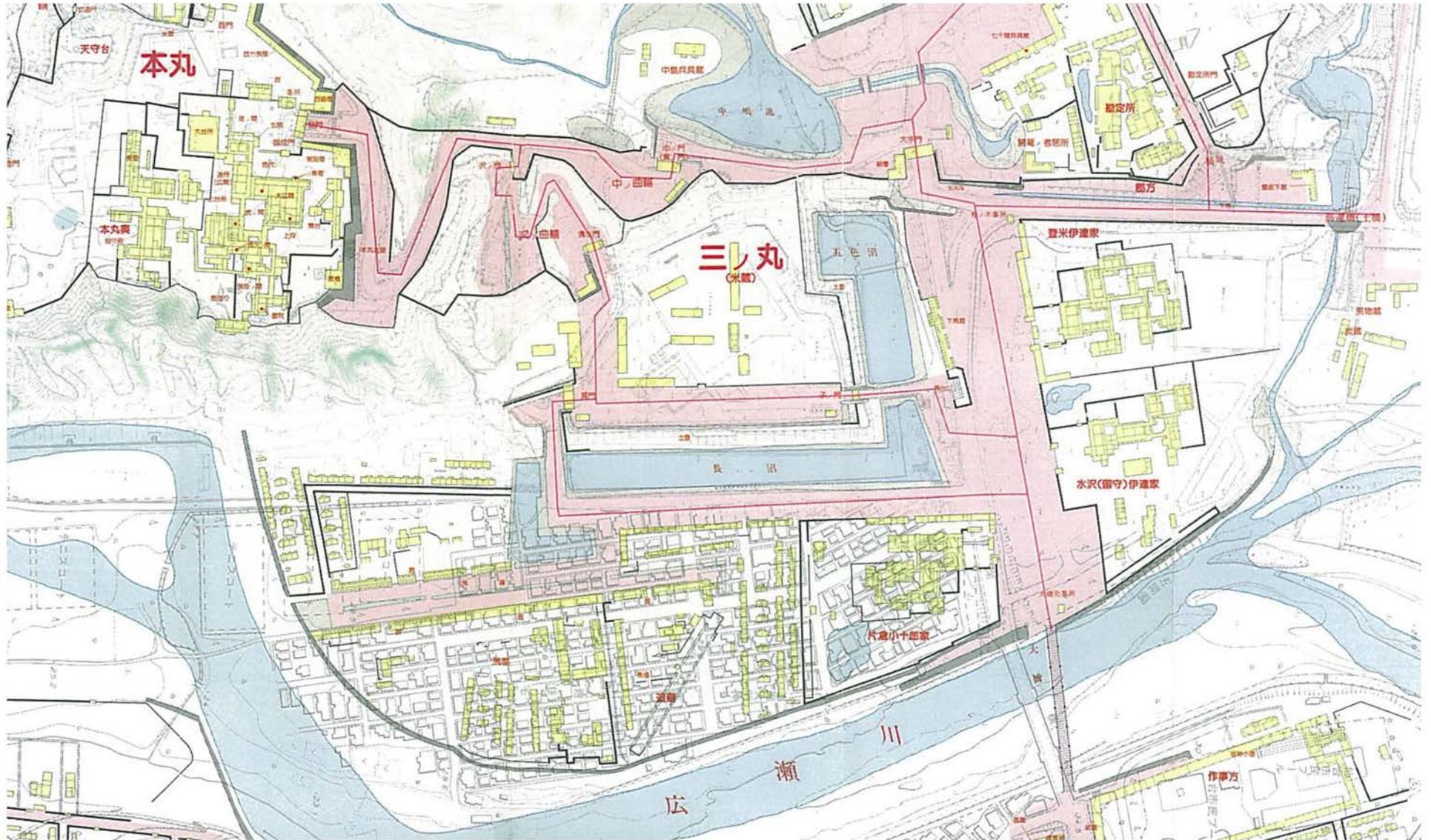
「歴史とのつながりを生む建築」

歴史応答のポイント

- 1 片倉屋敷と桃山建築
- 2 片倉屋敷跡の軸
- 3 片倉屋敷の空間スケール
- 4 柱間 6尺3寸

片倉屋敷と桃山建築

計画地の重ね絵図



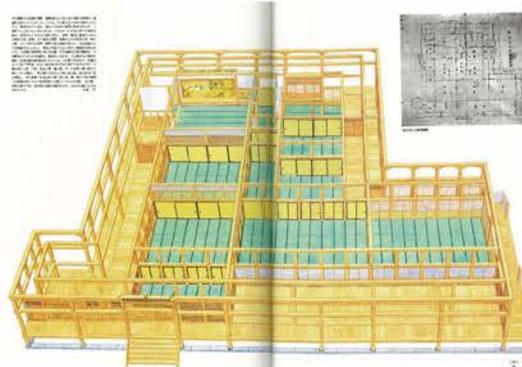
片倉屋敷と桃山建築

建築年と代表的な桃山建築

- 1610 仙台城、大手門
- 1601 園城寺光浄院客殿
- 1603 江戸幕府開府 二条城二の丸御殿
- 1607 大崎八幡宮本殿・石の間・拝殿
- 1609 瑞巖寺本堂 姫路城
- 1677 片倉家仙台屋敷



仙台城大広間



仙台城大広間絵図



大手門

片倉屋敷と桃山建築

園城寺光浄院客殿



1601年 滋賀県大津市

姫路城



1609年 兵庫県姫路市

仙台城、大手門



1610年 宮城県仙台市

二条城二の丸御殿



1603年 京都府京都市

大崎八幡宮



1607年 宮城県仙台市

瑞巖寺



1609年 宮城県松島町

片倉屋敷と桃山建築

園城寺光浄院客殿



1601年 滋賀県大津市

片倉屋敷のしつらえ

掛川城 御殿



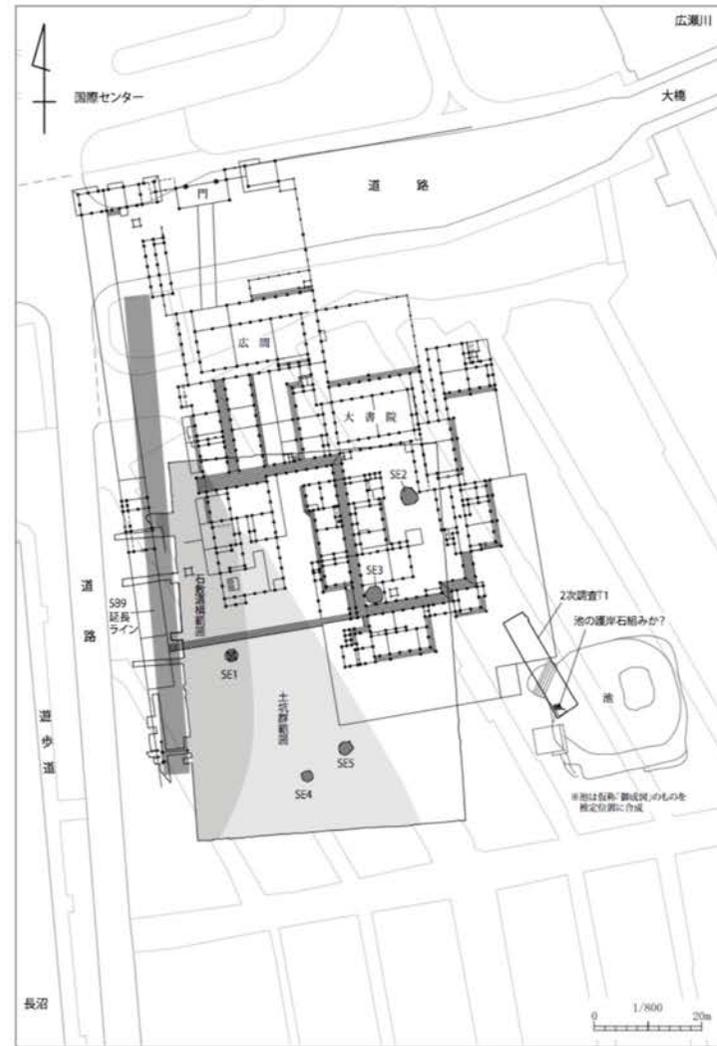
川越城 御殿



片倉屋敷跡の軸



『片倉屋敷絵図』台所棟西側の井戸とSE1を重ねた想定図



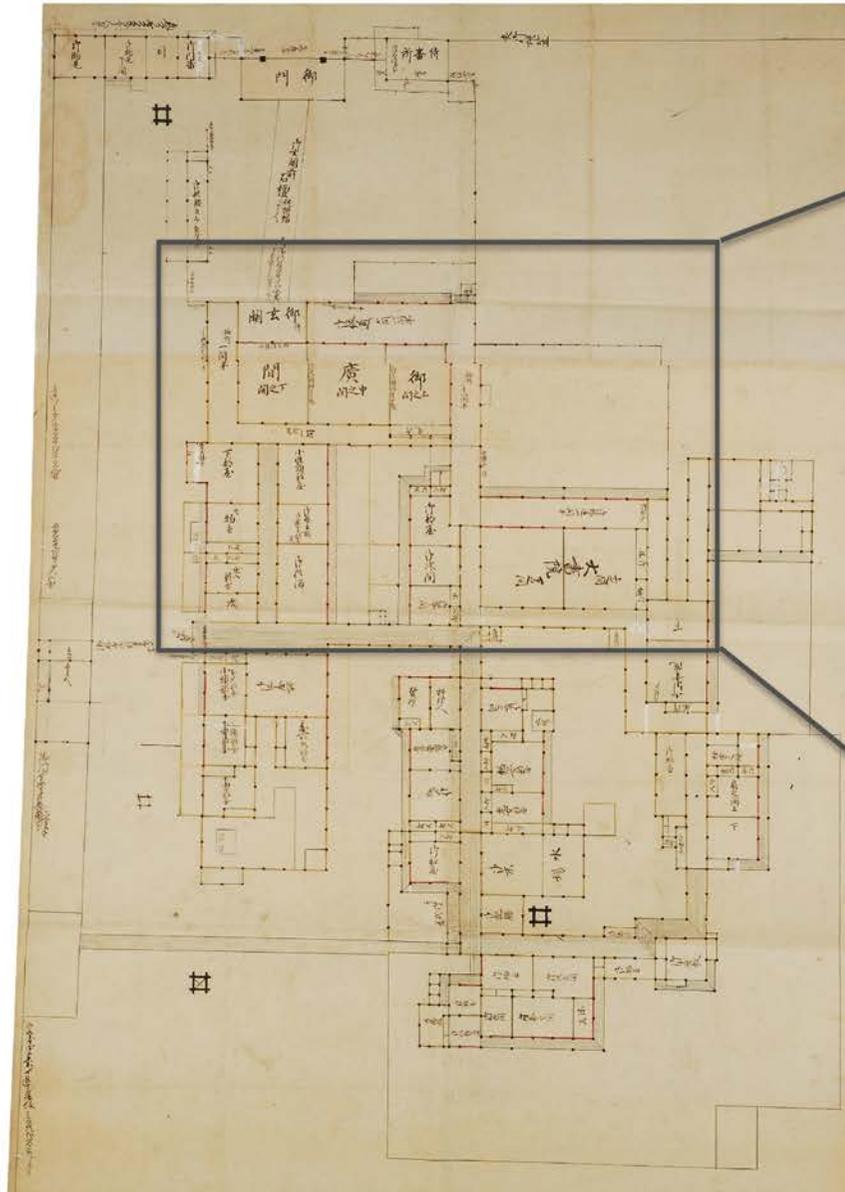
『片倉屋敷絵図』台所棟南側の井戸とSE1を重ねた想定図

片倉屋敷の空間スケール、柱間6尺3寸

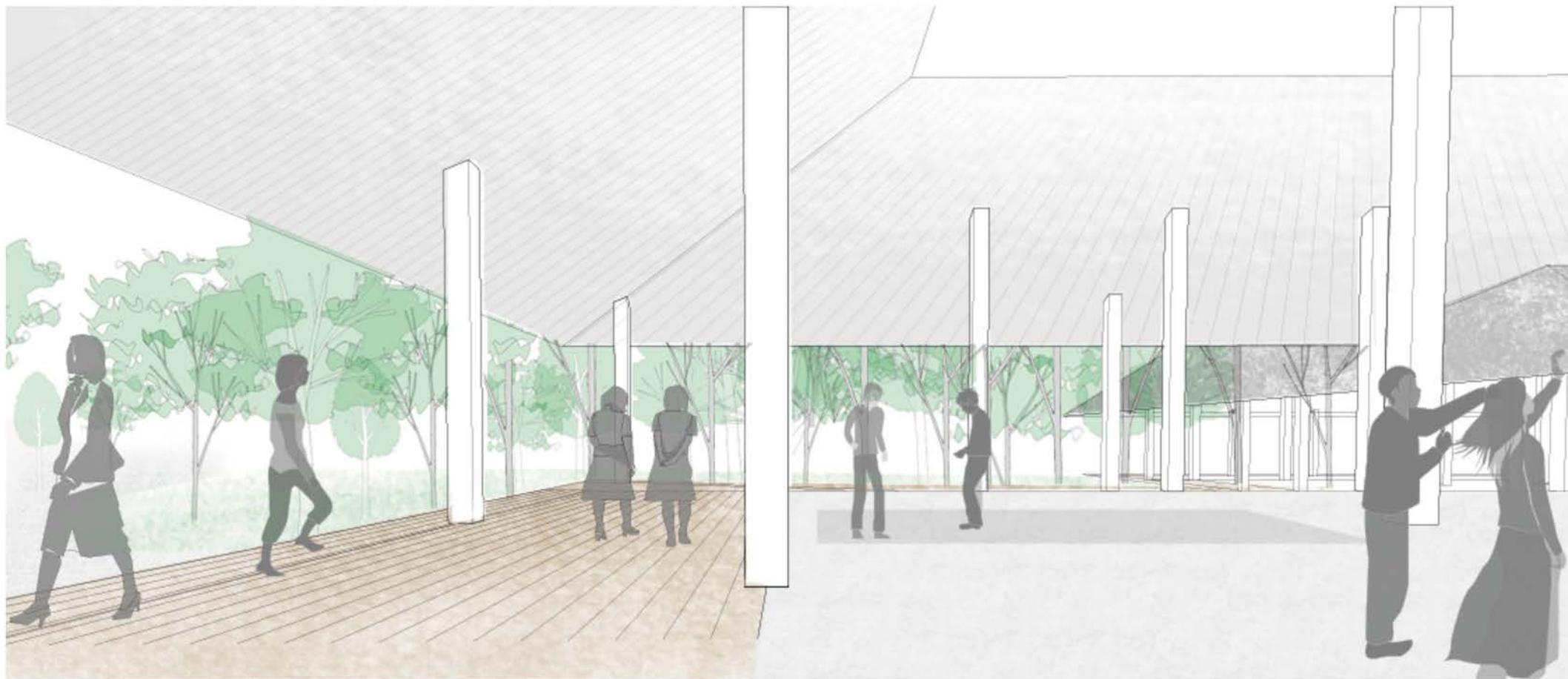
仙台御屋敷御作事之御絵図 仙台市博物館蔵

仙台市文化財調査報告書第444集

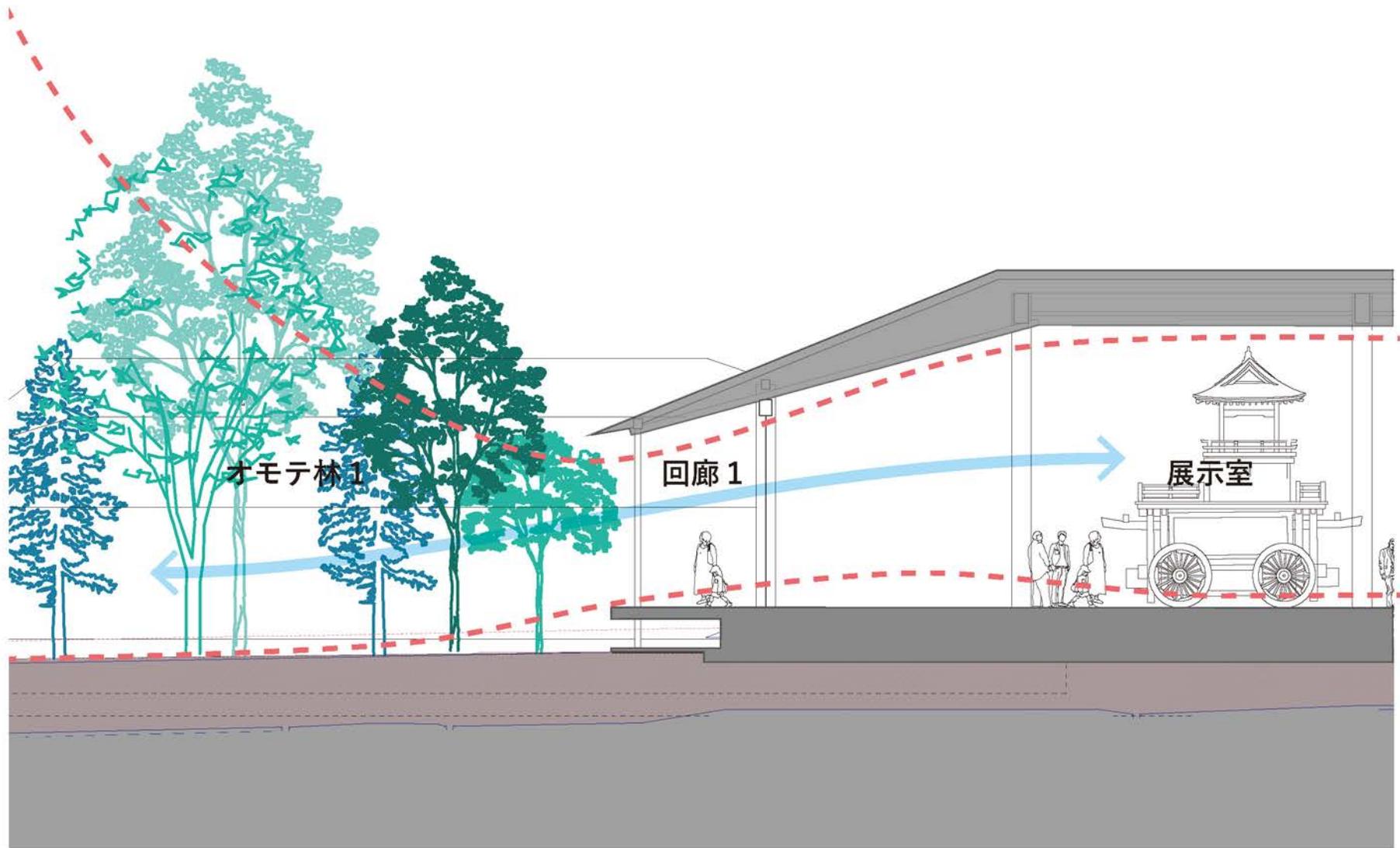
『仙台御屋敷御作事之御絵図』模式図



- ・建物の柱間6尺3寸の基準
- ・採光・眺望を考慮した入側縁と2重障子



展示室、回廊1よりオモテ林1を見る



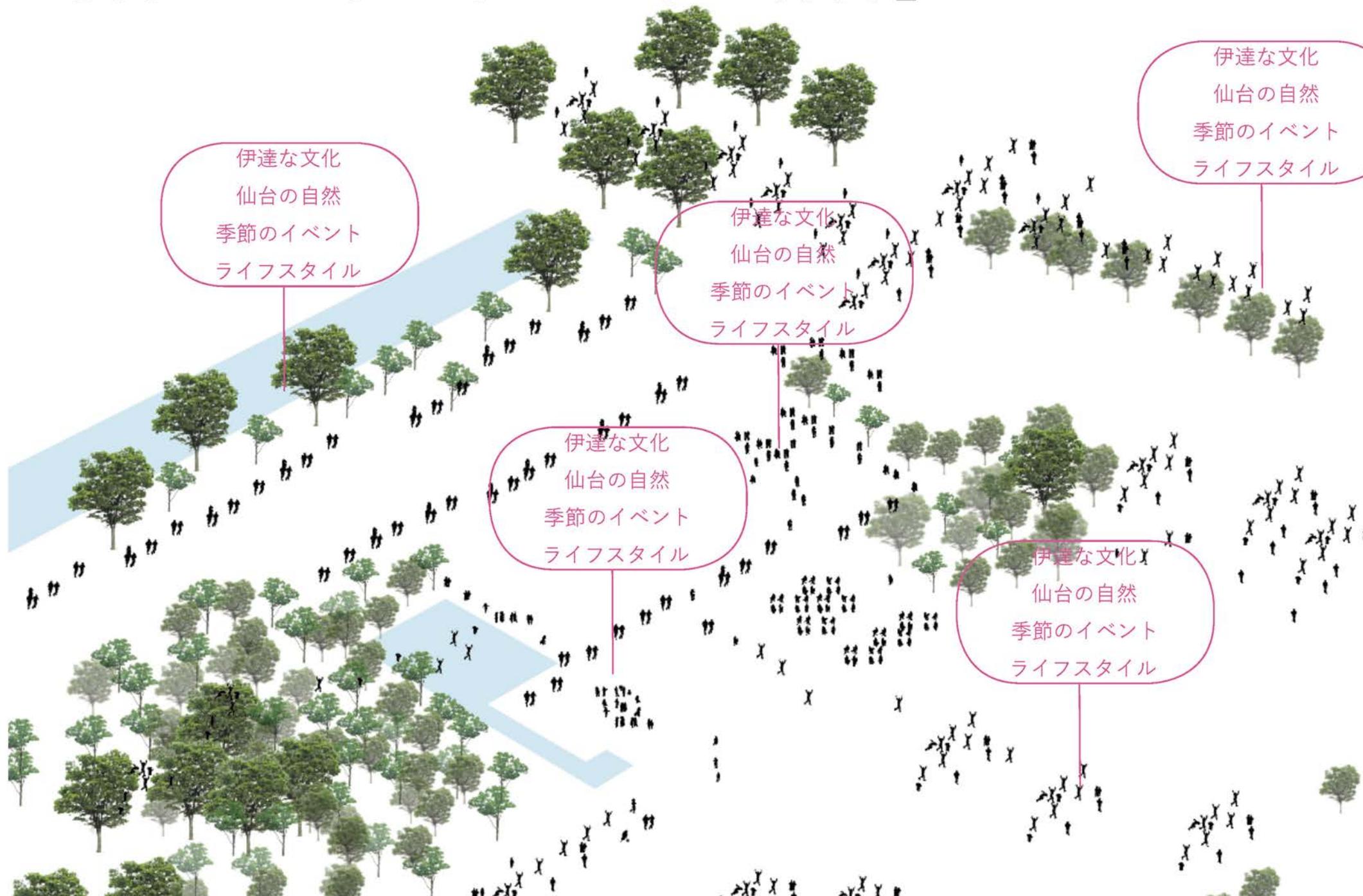
オモテ林1

回廊1

展示室

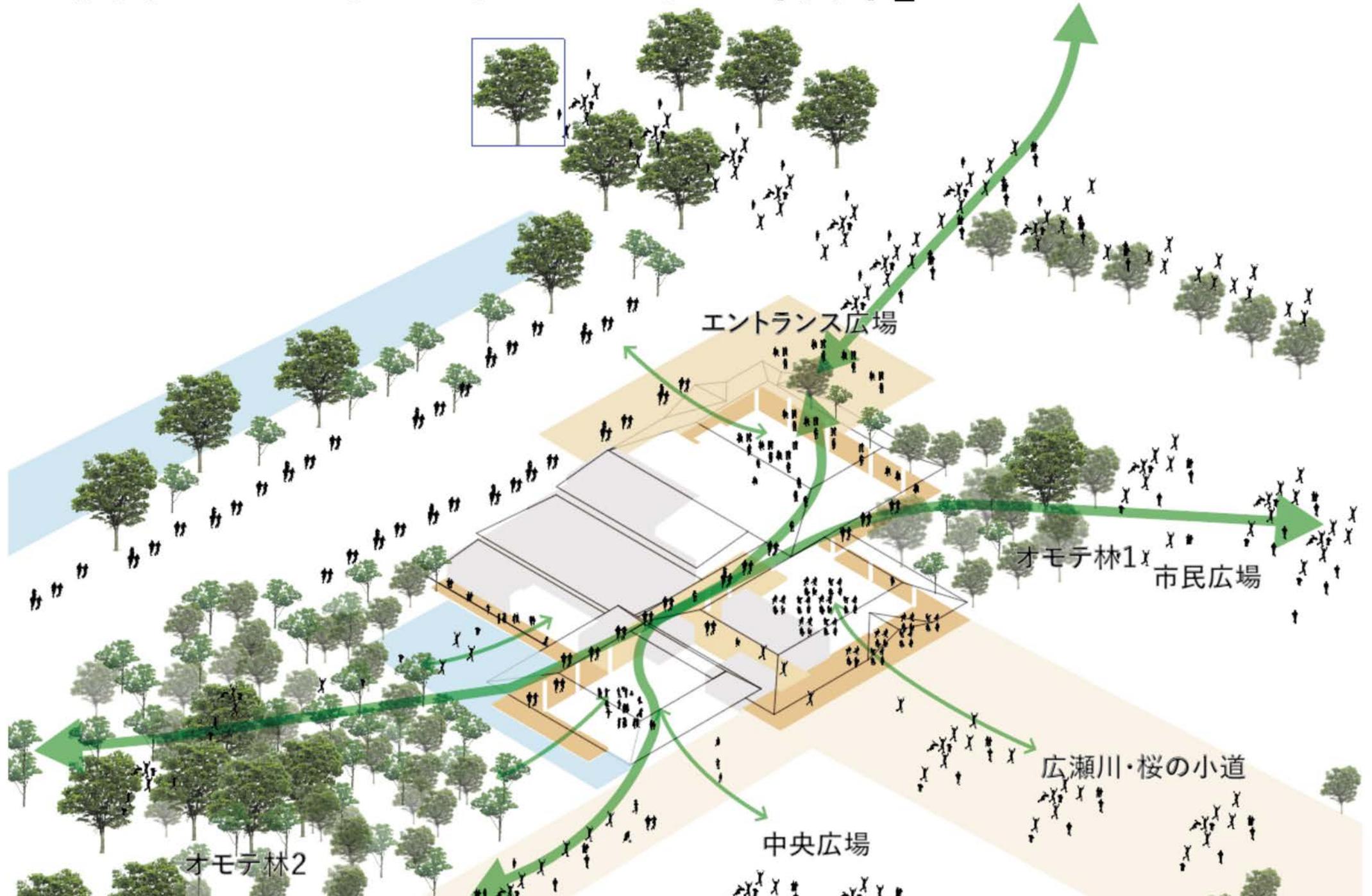
フロアレベルと地形造成

流れとつながりを生む「縁廊」



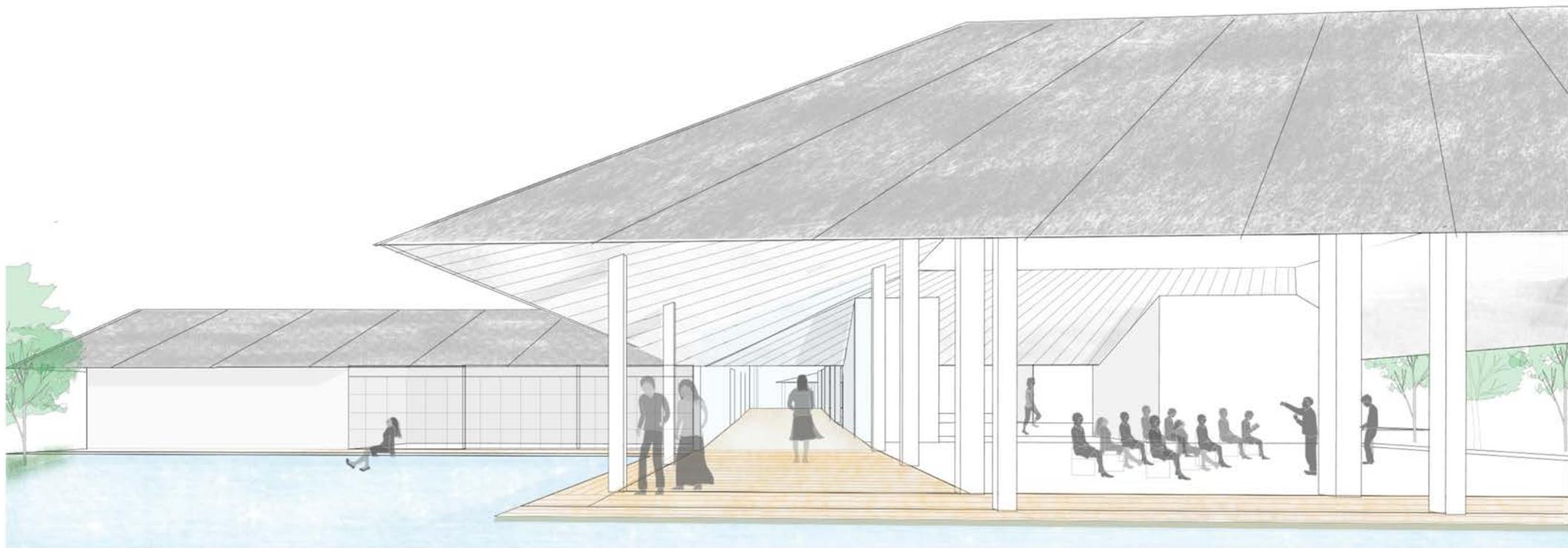
伊達な文化
仙台の自然
季節のイベント
ライフスタイル

流れとつながりを生む「縁廊」





展示室からライブラリーを見る

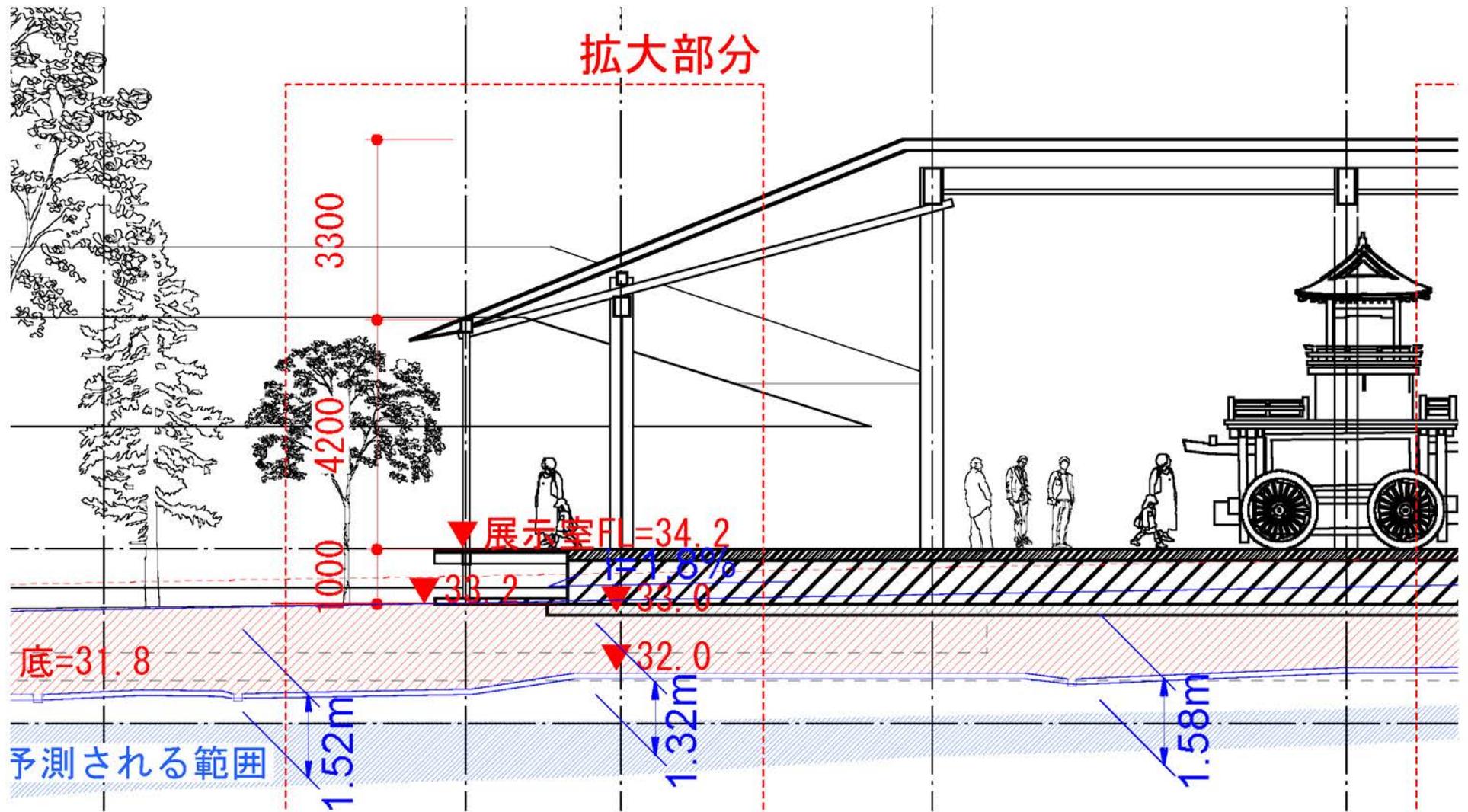


南側より建物を見る

デザインレビュー1

08

遺構保護と構造形式

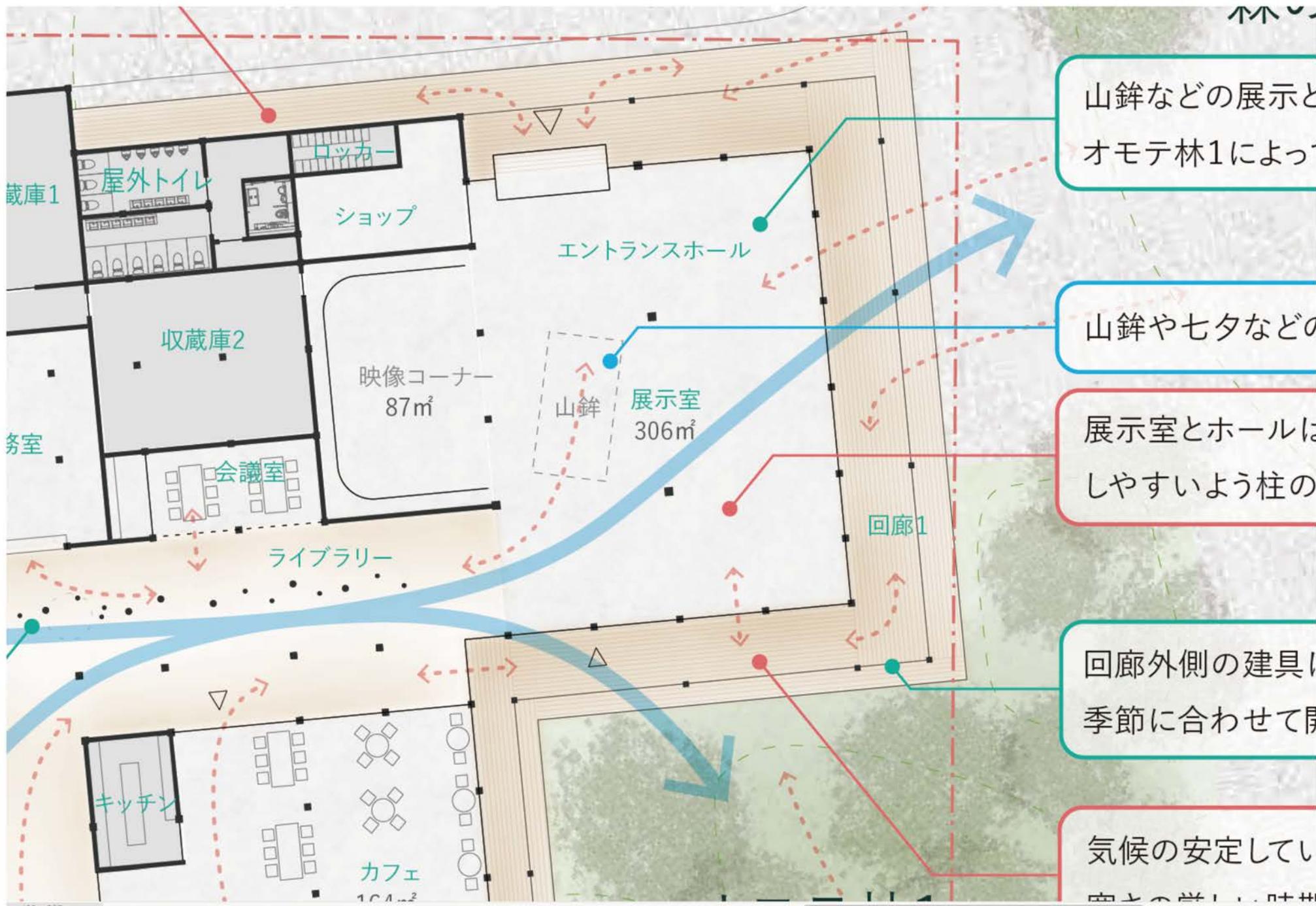


デザインレビュー1

09

展示室

展示室



山鉾などの展示と
オモテ林1によつ

山鉾や七夕などの

展示室とホールに
しやすいよう柱の

回廊外側の建具は
季節に合わせて開

気候の安定してい
展示の質を高め

展示室



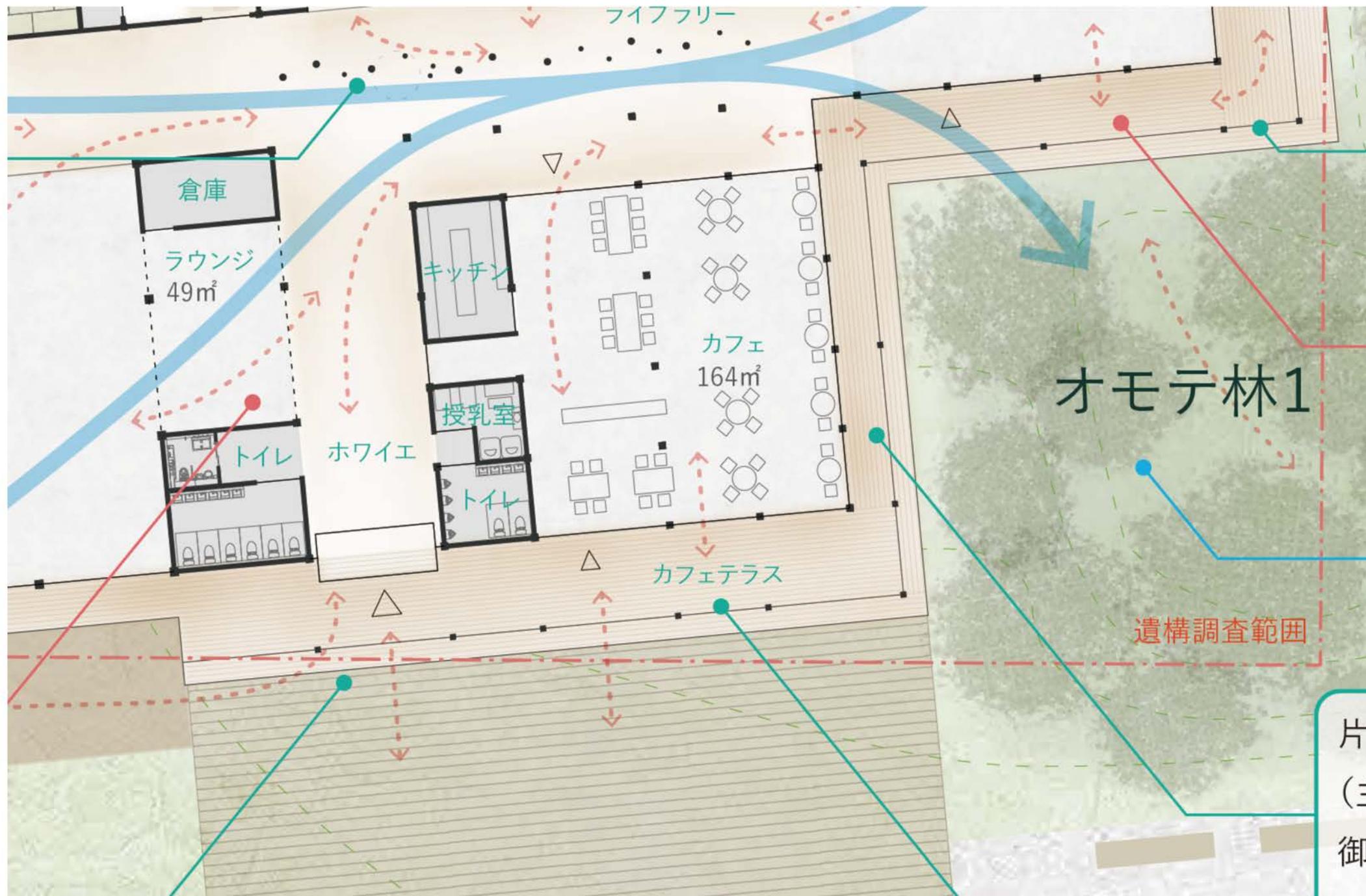
エントランスホールより展示室を見る

デザインレビュー1

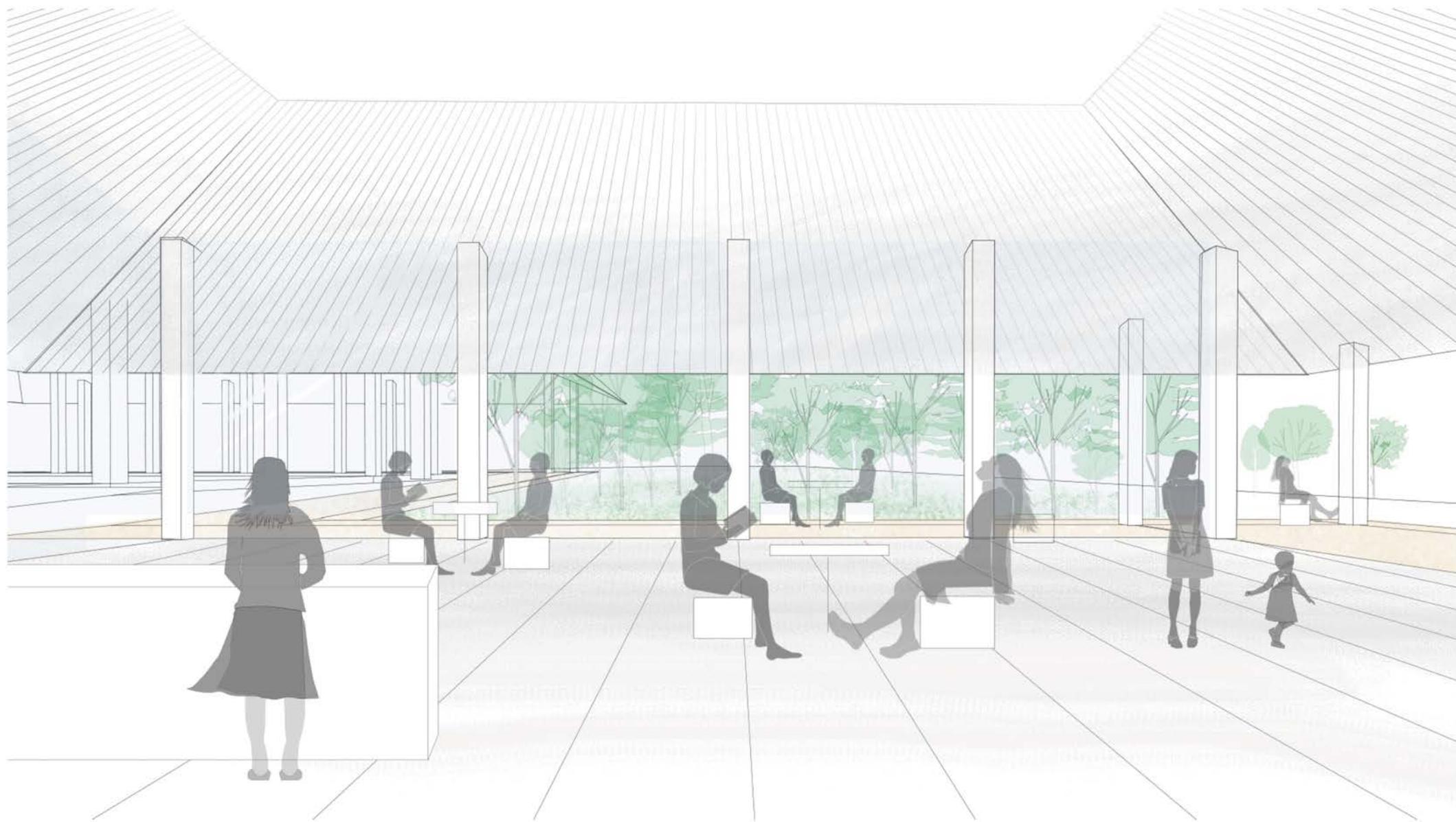
10

カフェ

カフェ



カフェ

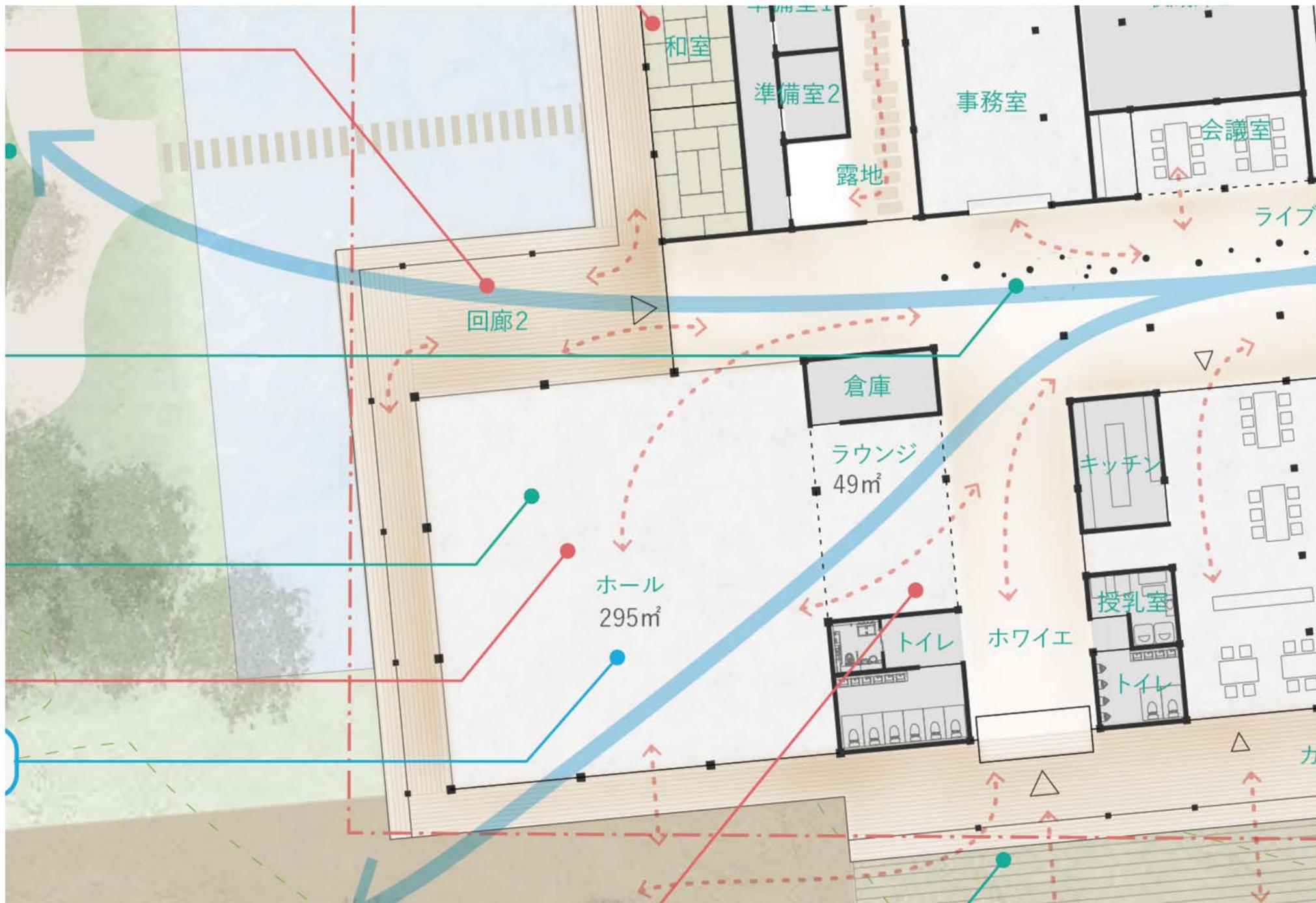


デザインレビュー1

11

ホール

ホール



ホール

使い方のバリエーション

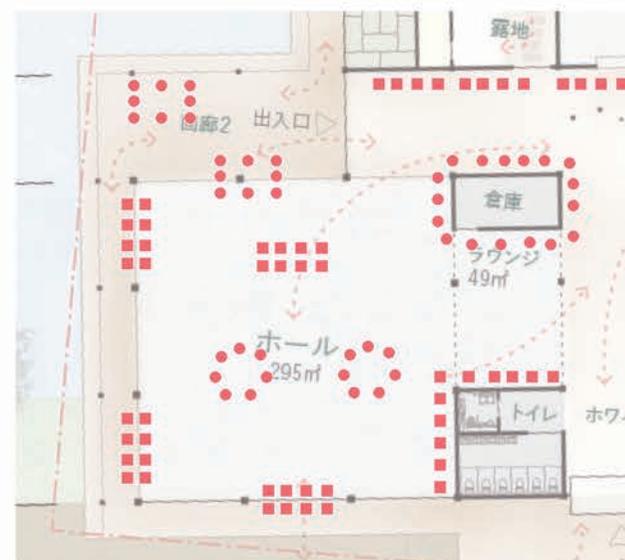


イベント



イベント

ユニークベニュー



ホール



ホールから森の庭園（オモテ林2）をのぞむ

デザインレビュー1

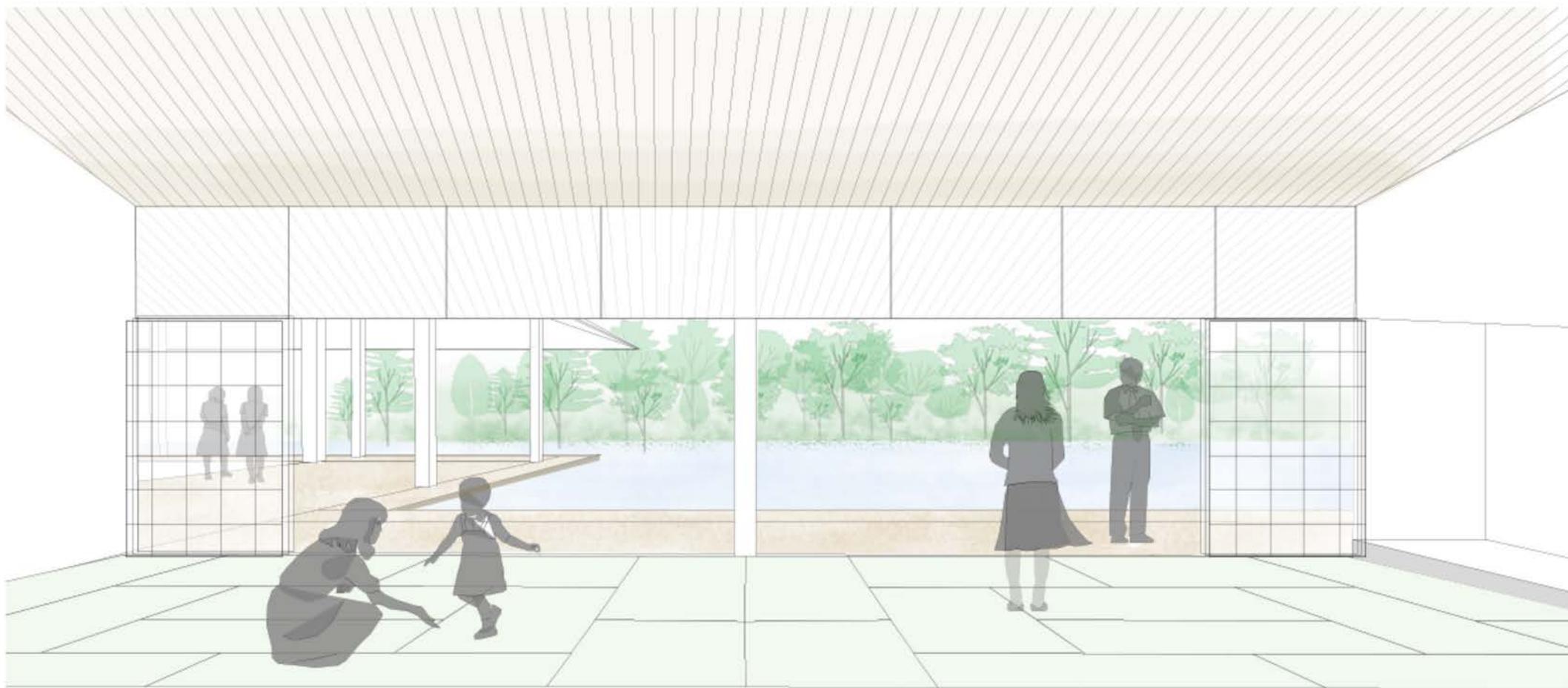
12

和室

和室



和室



和室より森の庭園（オモテ林2）をのぞむ

青葉山公園（仮称）公園センター
もりの歴史を未来につなぐ
プレイスメイキング

デザインレビュー1

「公園センターのデザインについて」

2018年2月3日(土)

ご静聴ありがとうございました。